令和５年度版

消防年報

常陸太田市消防本部

令和６年刊行

は　じ　め　に

ここに、令和５年度版「消防年報」を刊行いたします。

常陸太田市消防本部は、昭和40年３月７日設置以来、常陸太田市民の生命、身体、財産を火災及び各種災害から守り、「安全で安心してくらせるまちづくり」構築のため、市民のニーズに即応した消防業務を推進しています。

この消防年報は、令和５年度における常陸太田市の消防業務に関する事項を統計的に収録したもので、常陸太田市消防の現況と発展の推移を広く紹介し、消防事情をご理解していただくため編集しました。

この消防年報が、消防機関はもとより、広く関係各位にご活用いただければ幸甚です。

なお、本書は、令和６年３月末日現在をもって収録したものですが、これらによらないものについては、それぞれ記載した年月日現在により作成しました。

令和６年12月

常陸太田市消防本部

目　　次

１．常陸太田市民憲章…… 1
２．めざす職員像…… 1
３．消防本部（署）の位置及び人口世帯数…… 2
４．消防のあゆみ…… 3
５．消防本部設置後の沿革…… 4

６．総務関係
（１）消防本部・署の組織…… 14
（２）消防本部事務分掌…… 15
（３）南消防署・北消防署事務分掌…… 16
（４）消防力の基準と現有消防力…… 18
（５）消防職員階級別年齢表…… 18
（６）消防職員配置状況…… 19
（７）消防職員階級別資格等取得状況…… 19
（８）消防予算の推移…… 22
（９）人口・世帯当たりの消防費の推移…… 22
（10）消防庁舎の概要…… 23
（11）消防車両の現勢…… 23
（12）消防水利の現況…… 24

７．予防・通信施設関係
（１）防火対象物調…… 25
（２）建築同意及び通知処理状況…… 26
（３）過去３年間の年別建築同意及び通知処理状況…… 26
（４）建築同意月別用途別状況…… 27
（５）防火管理者講習会実施状況…… 28
（６）防火管理者選任届出状況…… 28
（７）予防関係届出及び申請等受理状況…… 29
（８）危険物事務処理状況…… 30
（９）危険物製造所等の施設数…… 31
（10）危険物製造所等の地区別施設数…… 31
（11）通信施設設置状況…… 32
（12）緊急通報システム系統図…… 34
（13）緊急通報システム利用者登録状況…… 34
（14）緊急通報システム処理状況…… 34
（15）気象状況月別表…… 35
（16）気象警報・注意報等発令状況…… 36
（17）防災・ドクターヘリコプターランデブーポイント…… 37

８．火災・救急・救助統計

（１）令和５年中の主な火災…… 39
（２）火災発生状況…… 40
（３）火災損害額状況…… 42
（４）月別火災発生状況…… 43
（５）曜日別火災発生状況…… 43
（６）出火時間別火災発生状況…… 43
（７）過去５年間の出火原因別件数…… 44
（８）月別・原因別火災発生件数…… 44
（９）過去５年間の火災件数及び損害額状況…… 45
(10) 地区別月別署所別事故種別救急出動件数…… 46
(11) 救急隊の行った応急処置状況…… 47
(12) 特定行為実施件数…… 47
(13) 時間別事故種別出動件数…… 48
(14) 曜日別事故種別出動件数…… 49
(15) 事故種別年齢別搬送人員…… 50
(16) 年齢別傷病程度別搬送人員…… 50
(17) 過去５年間の事故種別救急出動件数…… 51
(18) 過去５年間の地区別救急出動件数…… 51
(19) 署所別事故種別ＰＡ出動件数…… 52
(20) 署所別ドクターヘリ及び防災ヘリ要請件数…… 52
(21) 搬送先市町村別搬送人員…… 53
(22) 救急講習会実施状況…… 53
(23) 地区別救助出動件数…… 54
(24) 過去５年間の救助出動件数…… 54

９．消防団・防火団体関係

（１）常陸太田市消防団の沿革…… 55
（２）消防団員数…… 56
（３）年齢別消防団員数…… 56
（４）消防団車両等保有台数…… 56
（５）消防団車両の現勢…… 57
（６）消防団担当地域区分…… 58
（７）防火委員会関係…… 59

常　陸　太　田　市　民　憲　章

わたくしたちは、美しい久自の自然と由緒ある歴史の里とを守りつつ、あすをめざす常陸太田の市民です。

1　健康で楽しく働き　豊かなまちにしましょう

1　思いやりと感謝の心で　明るいまちにしましょう

1　子供のゆめを育て　幸せなまちにしましょう

1　自然と芸術に親しみ　文化の高いまちにしましょう

1　きまりを守り力をあわせ　住みよいまちにしましょう

め　ざ　す　職　員　像

わたくしたち消防人は、全体の奉仕者である公務員としての自覚のもとに、水火災等の災害に対応し、地域社会の安全確保と福祉の増進に寄与することを深く認識し、資質の向上と研鑽に務めます。

1　消防人の誇りと情熱を持ち、旺盛な実践力と融和、協調性のある職員

1　専門職として市民から尊敬、信頼される職員

1　視野を広め、研修に励み、人の意見を聞き、絶えず前進に務める職員

1　分担に応じ、責任を自覚して積極的に活動する職員

1　広い教養と、高い識見を持ち、円満な人格の陶冶に務める職員

市　の　木	市　の　鳥	市　の　花
けやき	かわせみ	やまぶき

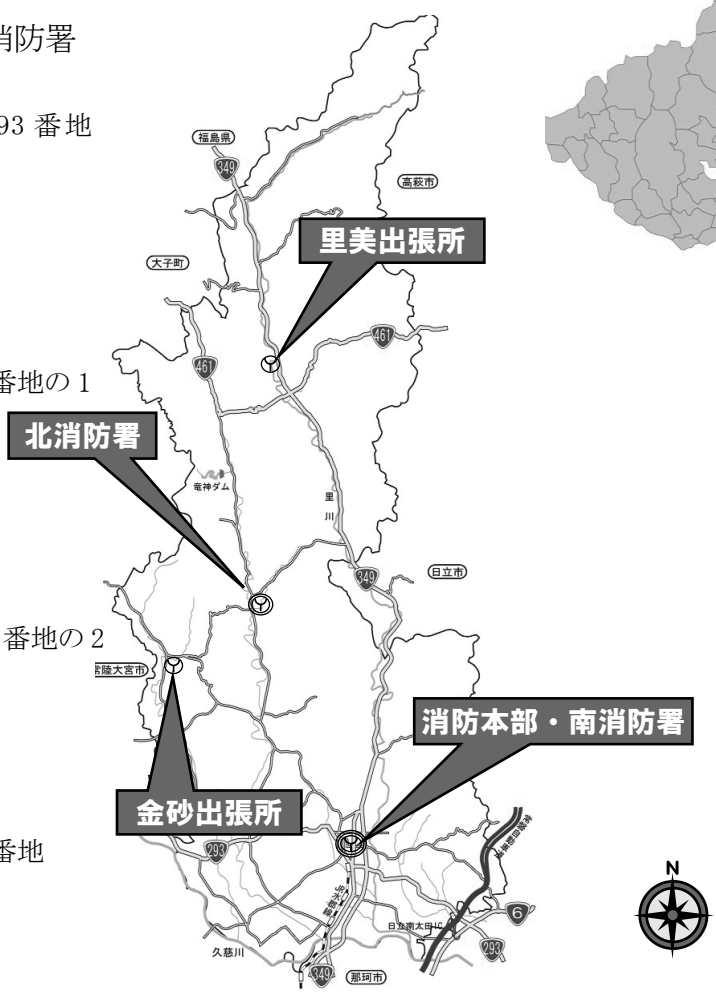
消防本部（署）の位置及び人口世帯数

■常陸太田市消防本部・南消防署
〒313-0013
茨城県常陸太田市山下町 1,693 番地
ＴＥＬ　0294-73-0119（代）
ＦＡＸ　0294-72-3713

■北消防署
〒313-0212
茨城県常陸太田市中染町 2,818 番地の 1
ＴＥＬ　0294-85-0119
ＦＡＸ　0294-85-0700

■金砂出張所
〒313-0103
茨城県常陸太田市下宮河内町 37 番地の 2
ＴＥＬ／ＦＡＸ　0294-76-9901

■里美出張所
〒311-0505
茨城県常陸太田市大中町 1,653 番地
ＴＥＬ／ＦＡＸ　0294-82-3099



◇テレフォンガイド
ＴＥＬ　0294-73-2940

（令和６年４月１日現在）

地　区　別	面　　積（km²）	人　　口	世　帯　数
常陸太田地区	１０９．５０	３０，７３７	１２，８１５
金砂郷地区	６１．６４	８，４０２	３，４０２
水府地区	８０．９２	３，５７１	１，５６２
里美地区	１１９．９３	２，４７５	１，０５９
計	３７１．９９	４５，１８５	１８，８３８

消　防　の　あ　ゆ　み

常陸太田市の消防は、徳川時代のなかごろ寛延３年にはすでに消防の組織があり、当時としては相当活躍していた火消しとして伝えられており、安政元年には火防組が組織されたと言われている。

当時の火防組は、寺町、内堀町、東上町、東中町、東下町、西上町、西中町、西下町、木崎町、十王坂、大内屋敷、金井下の 12 組に分かれて設置され、もっぱら竜吐水において活動していた。

その後、明治３年、町火消しが廃止されると消防組に改称され、さらに明治 27 年消防組規則が公布されると太田消防組として創設されたが、これより以後、消防組は警察の所管となり、時代の変遷の中で、徐々に機械化が進められ消防施設の拡充強化が図られた。

昭和 14 年、社会情勢の変化に伴い消防組は警防団に編成替えとなり、さらに昭和 16 年太平洋戦争が勃発すると戦時体制に切り替えられ、国家護持のもと軍事的な色彩の強い体制がとられた。

終戦後、昭和 22 年 12 月 23 日、消防組織法の制定により消防制度が改革されると、警防団が消防団に改められ、市町村の消防組織が新しく発足した。

その後、昭和 29 年７月 15 日、太田町、誉田村、機初村、佐竹村、西小沢村、幸久村、佐都村の１町６村の合併により常陸太田市が誕生すると、新たに常陸太田市消防団として発足し、続いて昭和 30 年３月１日、世矢村と河内村が合併した。

その後、第１次消防団機構改革により、合併当時 46 個分団 1,870 名だった組織を昭和 33 年９月末日をもって 25 個分団 514 名に整理統合し、同年 10 月１日をもって消防団に特設常備消防団を編成し、分団長以下 16 名の隊員と水槽付消防ポンプ自動車１台を配備して常設消防への基礎づくりを行い、昭和 40 年３月７日、政令指定により常陸太田市消防本部・署が設置された。また、これに併せ第２次消防団機構改革を行い同年７月１日をもって分団及び団員数を 22 個分団 394 名に整理統合し、さらに、昭和 48 年４月１日に第３次消防団機構改革を行い、９個分団 298 名に再改編された。

その後、平成６年４月１日、金砂郷町、水府村、里美村の１町２村との消防事務委託協定の締結に伴い中染分署を開設する。

近年になっては、複雑多様化する各種災害に迅速対応するため平成 11 年から５ヵ年計画で消防防災の拠点となる新消防庁舎の建設計画が進められ、平成 14 年７月 18 日に工事着工、平成 16 年１月 15 日に竣工、同年１月 19 日から新庁舎にて業務を開始する。また、これに併せ通信指令室の整備が図られ消防緊急通信指令施設Ｉ型を導入し同日から運用を開始する。

その後、平成 16 年 12 月１日、常陸太田市、金砂郷町、水府村、里美村の１市１町２村の市町村合併により、各消防団を統合して４支団 45 個分団 987 名とし、その後、平成 18 年３月 31 日、水府支団第９分団及び第 10 分団を廃止、同年４月１日、本部分団（女性消防団）を新たに設置、さらに、平成 19 年３月 31 日、里美支団第９分団を廃止して、４支団 43 個分団 987 名となる。

また、平成 18 年 10 月１日、常陸太田市役所里美支所内に里美出張所を開所し、平成 19 年４月１日には、市の機構改革に伴い常陸太田市消防署を常陸太田市南消防署、中染分署を常陸太田市北消防署として１本部２署１出張所となる。

その後、平成 21 年４月１日水府支団及び里美支団を８分団体制から４分団体制に再編し、４支団 35 個分団 987 名となる。

その後、平成 24 年４月１日、常陸太田市下宮河内町地内に金砂出張所を開所し、１本部２署２出張所となる。

その後、平成 26 年３月 31 日金砂郷支団第 17 分団を廃止、同年４月１日金砂郷支団 16 分団体制から４分団体制に再編し、４支団 22 個分団 987 名となる。

その後、令和２年４月１日、消防団の部の統合等による消防団組織改編を行ない、太田支団 15 個部体制から 12 個部体制、金砂郷支団 16 個部体制から８個部体制、水府支団 11 個部体制から８個部体制にそれぞれ再編し、車両も 60 台から 40 台と整備され、４支団 22 個分団 36 個部 920 名となる。

※消防団員数は定数

消 防 本 部 設 置 後 の 沿 革

昭和 40 年　3 月　7 日	政令指定により水槽付消防ポンプ自動車１台（イスズＩ－Ａ型)、普通消防ポンプ自動車１台（ＢＤ－Ｉ型)、指揮車１台、職員 32 名をもって常陸太田市消防本部及び消防署を設置
	初代消防長事務取扱に第４代市長宮田重文氏就任
	太田地方危険物安全協会設立
6 月　24 日	消防庁舎竣工式並びに開所式
7 月　1 日	第２次消防団機構改革により 22 分団 394 名に整理統合
	水槽付消防ポンプ自動車（イスズＩ－Ａ型）を消防署に配備
昭和 41 年　12 月　6 日	初代消防団長小林重之氏退任
12 月　15 日	第２代消防団長に石川平四郎氏就任
昭和 42 年　4 月　1 日	職員５名を採用職員数 35 名となる
昭和 43 年　3 月　7 日	救急業務を開始、常陸太田ライオンズクラブより救急車（日産グロリア改）を寄贈され、消防署に配備
昭和 44 年　7 月　24 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を寄贈され、消防署に配備
昭和 45 年　11 月　16 日	瑞竜中学校少年消防クラブ設立
昭和 48 年　4 月　1 日	第３次消防団機構改革により９分団 298 名に整理統合、各分団に消防ポンプ自動車を配備
12 月　6 日	消防長事務取扱宮田重文氏急逝
	第２代消防長職務代理者稲葉登一氏就任
昭和 49 年　1 月　26 日	消防長職務代理者稲葉登一氏退任
1 月　27 日	第３代消防長事務取扱に第５代市長武藤彬氏就任
3 月　29 日	金砂郷村、水府村及び里美村と救急業務の事務委託に関する協定を締結
4 月　1 日	金砂郷村、水府村及び里美村との救急業務事務委託協定に基づき三村の救急業務を開始
5 月　1 日	職員５名を採用職員数 38 名となる
	水槽付消防ポンプ自動車（日産Ｉ－Ｂ型）を消防署に配備（更新）
昭和 51 年　7 月　1 日	茨城県より指定水防管理団体の指定を受ける
昭和 52 年　1 月　21 日	社団法人日本自動車工業会より救急車（トヨタ２Ｂ型）を寄贈され、消防署に配備
7 月　1 日	職員５名を採用職員数 43 名となる
昭和 53 年　12 月　22 日	小型動力ポンプ積載車を第２分団第２部に配備
〃　を第６分団第２部に配備	
〃　を第８分団第２部に配備	
昭和 54 年　2 月　15 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を第２分団第１部に配備（更新）
3 月　20 日	搬送車を消防署に配備
8 月　10 日	小型動力ポンプ積載車を第３分団第２部に配備
〃　を第４分団第２部に配備	
〃　を第６分団第３部に配備	

昭和 54 年	9 月	14 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を第１分団に配備（更新）
			〃　　を第４分団第１部に配備（更新）
昭和 55 年	3 月	31 日	消防団長石川平四郎氏退任
	4 月	1 日	第３代消防団長に根本正美氏就任
	8 月	25 日	小型動力ポンプ積載車を第３分団第３部に配備
			〃　　を第５分団第２部に配備
			〃　　を第５分団第３部に配備
昭和 56 年	1 月	29 日	救急車（トヨタ２Ｂ型）を消防署に配備
	2 月	3 日	那珂瓜連地区消防事務組合消防本部との相互応援協定を締結
	2 月	7 日	太田消防友の会設立
	7 月	8 日	日立市消防本部との相互応援協定を締結
	10 月	28 日	消防ポンプ自動車（イスズＣＤ－Ｉ型）を消防署に配備（更新）
昭和 57 年	4 月	1 日	西河内婦人防火クラブ設立
	5 月	31 日	常陸太田市幼少年婦人防火委員会設立
	6 月	8 日	峰山中学校少年消防クラブ設立
昭和 58 年	8 月	29 日	連絡車（ダイハツ）を消防署に配備（更新）
昭和 59 年	4 月	1 日	職員４名を採用職員数 42 名となる
	5 月	1 日	太田中学校少年消防クラブ設立
			太田進徳幼稚園幼年消防クラブ設立
			西小沢幼稚園　　〃
昭和 60 年	2 月	18 日	常磐自動車道水戸、日立南太田インターチェンジ間における消防相互応援協定を締結
	3 月	1 日	茨城県防災行政無線運用開始
	4 月	1 日	職員２名を採用職員数 43 名となる
	10 月	1 日	太田あすなろ保育園幼年消防クラブ設立
昭和 61 年	6 月	27 日	指揮車（トヨタクラウン）を消防署に配備
	7 月	22 日	財団法人日本消防協会より救急車（日産２Ｂ型）を寄贈され、消防署に配備
	10 月	1 日	消防署に救助隊を配置し救助業務を開始する
			救助訓練塔竣工
昭和 62 年	3 月	23 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を第５分団第１部に配備（更新）
	3 月	31 日	消防団長根本正美氏退任
	4 月	24 日	第４代消防団長に川又康志氏就任
昭和 63 年	3 月	28 日	救助工作車Ⅱ型（イスズ）を消防署に配備
平成 元 年	2 月	27 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を第３分団第１部に配備（更新）
			〃　　を第６分団第１部に配備（更新）
	4 月	1 日	茨城県相互応援協定締結
			職員３名を採用職員数 44 名となる
	8 月	16 日	財団法人河川情報センターの河川情報システム運用開始

平成 2 年	1 月 26 日	消防長事務取扱第５代市長武藤彬氏退任
	1 月 27 日	第４代消防長事務取扱に第６代市長渡辺龍一氏就任
	2 月 9 日	水難救助用折りたたみ式アルミボートを消防署に配備
	3 月 23 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を第７分団に配備（更新）
		〃 を第９分団に配備（更新）
	3 月 31 日	第１分団コミュニティ消防センター竣工
	4 月 1 日	職員１名を採用職員数 45 名となる
	11 月 26 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を第８分団第１部に配備（更新）
平成 3 年	2 月 5 日	社団法人日本自動車工業会より救急車（日産２Ｂ型）を寄贈され、消防署に配備
	3 月 11 日	緊急通報システム業務開始
	3 月 31 日	第２分団第１部コミュニティ消防センター竣工
		第６代市長渡辺龍一氏消防長事務取扱を退任
	4 月 1 日	第５代消防長に武藤敏記氏就任
	8 月 20 日	指令車（トヨタクラウン）を本部に配備
	10 月 15 日	金砂郷村、水府村及び里美村各村長から事務委託消防常備化要望
	12 月 26 日	条例改正により職員定数 53 名となる
平成 4 年	4 月 1 日	消防本部機構改革により本部２課１室６係、消防署４係とする
		職員８名を採用職員数 51 名となる
	4 月 28 日	消防ポンプ自動車（三菱ＣＤ－Ｉ型）を消防署に配備（更新）
	6 月 4 日	金砂郷村、水府村及び里美村との消防常備化推進に関する協定を締結
	8 月 26 日	連絡車（スバル）を本部に配備（更新）
	9 月 25 日	条例改正により職員数 76 名となる
	10 月 1 日	職員１名を採用職員数 52 名となる
平成 5 年	1 月 25 日	小型動力ポンプ付積載車を第２分団第２部に配備（更新）
		〃 を第６分団第２部に配備（更新）
		〃 を第８分団第２部に配備（更新）
	2 月 19 日	第２分団第２部コミュニティ消防センター竣工
	2 月 25 日	第６分団第２部 〃
	3 月 1 日	第８分団第１部 〃
		第８分団第２部 〃
	4 月 1 日	金砂郷村、水府村及び里美村との消防事務委託のため調査室を設置
		職員 13 名を採用職員数 63 名となる
	4 月 2 日	自治省告示第 61 号により消防本部及び消防署を置かなければならない町村として、金砂郷村、水府村及び里美村が指定される
	10 月 1 日	職員２名を採用職員数 65 名となる
	11 月 1 日	常陸太田市消防団員互助会設立
		金砂郷村、町制施行

平成 5 年	12 月 8 日	小型動力ポンプ付積載車を第３分団第２部に配備（更新）
		〃 を第４分団第２部に配備（更新）
		〃 を第５分団第３部に配備（更新）
	12 月 21 日	金砂郷町、水府村及び里美村との消防事務委託に関する規約制定議決
平成 6 年	2 月 1 日	金砂郷町、水府村及び里美村と緊急通報システムの事務委託協定を締結
		一町二村の緊急通報システム業務開始
	2 月 7 日	第３分団第１部コミュニティ消防センター竣工
		第３分団第２部 〃
		第４分団第２部 〃
		第５分団第３部 〃
	2 月 18 日	安田生命保険相互会社より救急車（日産２Ｂ型）を寄贈され、消防署に配備
		幸久幼稚園幼年消防クラブ設立
	2 月 21 日	水槽付消防ポンプ自動車（イスズＩ－Ｂ型）を消防署に配備（更新）
	3 月 7 日	世矢幼稚園幼年消防クラブ設立
	3 月 24 日	金砂郷町、水府村及び里美村と消防事務委託協定を締結
		常陸太田市消防署中染分署竣工
	3 月 31 日	消防長武藤敏記氏退任
	4 月 1 日	第６代消防長に舘昌毅氏就任
		職員 14 名を採用職員数 76 名となる
		金砂郷町、水府村及び里美村の消防事務委託に伴い、水槽付消防ポンプ自動車（イスズＩ－Ｂ型）１台､救急車（日産２Ｂ型）１台､連絡車（三菱パジェロ）１台、職員分署長以下 23 名をもって常陸太田市消防署中染分署業務開始
	6 月 15 日	福島県白河地方広域市町村圏消防本部との応援協定を締結
	8 月 9 日	財団法人日本消防協会寄贈の広報車（三菱リベロカーゴバン）を本部に配備（更新）
	12 月 10 日	上内田婦人防火クラブ設立
平成 7 年	3 月 14 日	小型動力ポンプ付積載車を第３分団第３部に配備（更新）
		〃 を第５分団第２部に配備（更新）
		〃 を第６分団第３部に配備（更新）
	3 月 16 日	第３分団第３部コミュニティ消防センター竣工
		第５分団第２部 〃
		第６分団第３部 〃
	3 月 20 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ｉ型）を第１分団に配備（更新）
	3 月 29 日	第７分団コミュニティ消防センター竣工
	3 月 31 日	消防長舘昌毅氏退任
	4 月 1 日	第７代消防長に大内晄氏就任
		職員１名を採用職員数 76 名となる
	4 月 23 日	消防団長川又康志氏退任
	4 月 24 日	第５代消防団長に磯野繁信氏就任

平成 7 年	9 月	10 日	中内田婦人防火クラブ設立
	12 月	16 日	幸久小学校少年消防クラブ設立
平成 8 年	2 月	6 日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を消防署に配備（更新）
	2 月	25 日	常陸太田市消防団無線局運用開始
	3 月	29 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を第２分団第１部に配備（更新）
	4 月	1 日	職員２名を採用職員数 76 名となる
	4 月	12 日	第６分団第１部コミュニティ消防センター竣工
			第９分団　　〃
	5 月	27 日	耐震性貯水槽 100ｔを消防署敷地内に設置
	9 月	25 日	条例改正により職員定数 78 名となる
平成 9 年	3 月	5 日	中染分署に消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を配備
	3 月	12 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を第４分団第１部に配備（更新）
	3 月	24 日	指揮車（トヨタチェイサー）を消防署に配備（更新）
	3 月	31 日	消防長大内晄氏退任
	4 月	1 日	第８代消防長に山部正之氏就任
			職員２名を採用職員数 78 名となる
			中染分署の職員数を２名増員し分署長以下 25 名とする
			消防本部の機構を一部改正し２課１室５係とする
	4 月	30 日	第４分団第１部コミュニティ消防センター竣工
			第５分団第１部　　〃
平成 10 年	3 月	10 日	耐震性貯水槽 100ｔを市内中城町地内に設置
平成 11 年	4 月	1 日	職員３名を採用職員数 78 名となる
平成 12 年	3 月	31 日	消防長山部正之氏退任
	4 月	1 日	第９代消防長に小田部勉氏就任
平成 13 年	3 月	31 日	消防長小田部勉氏退任
	4 月	1 日	第 10 代消防長に井上裕彦氏就任
			職員１名を採用職員数 77 名となる
平成 14 年	2 月	22 日	高規格救急車（災害対応特殊救急自動車）を中染分署に配備
	4 月	1 日	職員１名を採用職員数 78 名となる
			通信指令室に専任職員２名を配置する
	6 月	21 日	条例改正により職員定数 84 名となる
	7 月	18 日	新消防庁舎起工式
	11 月	12 日	木崎保育園幼年消防クラブ設立
	11 月	26 日	宮ノ脇保育園　　〃
平成 15 年	2 月	12 日	はすみ保育園　　〃
	2 月	20 日	高規格救急車（災害対応特殊救急自動車）を消防署に配備（更新）
	2 月	27 日	救助工作車Ⅱ型（日野）を消防署に配備（更新）
	3 月	31 日	消防団長磯野繁信氏退任

平成 15 年	4 月 1 日	第６代消防団長に岡田攻氏就任
		職員６名を採用職員数 83 名となる
	7 月 11 日	資器材搬送車（三菱キャンター２ｔクレーン付）を本部に配備
	8 月 22 日	広報車（トヨタヴォクシー）を本部に配備（更新）
	10 月 30 日	愛保育園幼年消防クラブ設立
	11 月 1 日	消防署の機構を一部改正し４係を３係とする
		通信指令室に専任職員４名を増員し室長以下７名とする
平成 16 年	1 月 15 日	消防庁舎竣工式
	1 月 19 日	消防庁舎業務開始
		消防緊急通信指令施設（Ｉ型）運用開始
	4 月 1 日	職員３名を採用職員数 83 名となる
		のぞみ幼稚園幼年消防クラブ設立
	12 月 1 日	常陸太田市、金砂郷町、水府村、里美村が合併し、新生「常陸太田市」誕生
		合併に伴い金砂郷町、水府村及び里美村との消防事務委託協定消滅
		合併に伴い各消防団を統合し４支団 45 分団 987 名となる
		事務職員２名を総務課に配属職員数 84 名となる
		連絡車（トヨタカルディナ：旧金砂郷町）を本部に配備
		搬送車（日産アトラス：旧金砂郷町）を消防署に配備
平成 17 年	1 月 21 日	那珂市消防本部との相互応援協定を締結
	2 月 14 日	水槽付消防ポンプ自動車（日野Ｉ－Ｂ型）を消防署に配備（更新）
	2 月 23 日	救助訓練塔竣工
	4 月 1 日	事務職員１名を総務課に配属職員数 84 名となる
		郡戸小学校少年消防クラブ設立
		山田小学校 〃
		賀美小学校 〃
		久米幼稚園幼年消防クラブ設立
		郡戸幼稚園 〃
		水府幼稚園 〃
		里美幼稚園 〃
		こどもセンターうぐいす 〃
		すいふ保育園 〃
		さとみ保育園 〃
	6 月 8 日	乗用車（日産ティアナ）を本部に配備
平成 18 年	3 月 31 日	消防長井上裕彦氏退任
		水府支団第９分団、第 10 分団廃止
	4 月 1 日	第 11 代消防長に篠原麻男氏就任
		職員２名を採用職員数 84 名となる
		消防団本部分団（女性消防団）を設置し、４支団 44 分団 987 名となる

平成 18 年	8 月	26 日	平成 18 年度茨城県・常陸太田市総合防災訓練を実施
	9 月	6 日	財団法人日本宝くじ協会から訓練指導車（けすぞうくん）が寄贈され本部に配備
	9 月	22 日	常陸太田市消防署中染分署里美出張所竣工
	9 月	29 日	条例改正により職員定数 88 名となる
	10 月	1 日	救急車（日産２Ｂ型）１台、消防ポンプ自動車（三菱ＣＤ－Ⅰ型）、職員８名をもって、常陸太田市消防署中染分署里美出張所業務開始
平成 19 年	2 月	8 日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を里美出張所に配備（更新）
	3 月	31 日	里美支団第９分団廃止
	4 月	1 日	市の機構改革に伴い本部を２課４係、消防署を３係１室の南消防署とし、中染分署を３係の北消防署とする
			職員５名を採用及び事務吏員１名を総務課に配属職員数 88 名となる
			日立市消防本部との職員相互派遣研修に関する協定を締結
	12 月	19 日	普通消防ポンプ自動車（日野ＣＤ－Ⅰ型）を南消防署に配備（更新）
平成 20 年	3 月	30 日	水府支団第５分団、第８分団第１部コミュニティ消防センター竣工
	4 月	1 日	職員３名を採用職員数 87 名となる
			高萩市消防本部との相互応援協定を締結
	12 月	19 日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を南消防署に配備（更新）
平成 21 年	3 月	26 日	水府支団第７分団、里美支団第６分団コミュニティ消防センター竣工
	3 月	31 日	消防長篠原麻男氏退任
			消防団長岡田攻氏退任
	4 月	1 日	第 12 代消防長に菊池勝美氏就任
			第７代消防団長に引田勝美氏就任
			職員３名を採用職員数 87 名となる
			水府支団及び里美支団を８分団体制から４分団体制に再編し、４支団 35 分団 987 名となる
	11 月	30 日	水槽付消防ポンプ自動車（日野Ⅰ－Ｂ型）を北消防署に配備（更新）
			消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を太田支団第３分団第１部に配備（更新）
			〃　を太田支団第５分団第１部に配備（更新）
平成 22 年	2 月	15 日	総務省消防庁から小型動力ポンプ積載車を無償貸付され、金砂郷支団第 17 分団に配備
	4 月	1 日	事務吏員１名を総務課に配属職員数 87 名となる
	12 月	2 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を太田支団第６分団第１部に配備（更新）
			〃　を太田支団第７分団に配備（更新）
			〃　を太田支団第８分団第１部に配備（更新）
			〃　を太田支団第９分団に配備（更新）
平成 23 年	3 月	22 日	〃　を里美支団第３分団第１部に配備（更新）
	3 月	31 日	消防長菊池勝美氏退任
	4 月	1 日	第 13 代消防長に福地壽之氏就任
			職員４名を採用職員数 87 名となる

平成 24 年	3 月	14 日	常陸太田市北消防署金砂出張所竣工
	3 月	22 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を金砂郷支団第３分団に配備（更新）
	4 月	1 日	北消防署の機構を一部改正し１署２出張所３係とする
			高規格救急車（トヨタハイメディック）１台、消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）１台、職員８名をもって、北消防署金砂出張所業務開始
			職員２名を採用職員数 88 名となる
	5 月	15 日	消防ポンプ自動車（日野ＣＤ－Ⅰ型）を北消防署里美出張所に配備（更新）
	10 月	2 日	トヨタカローラ新茨城株式会社から普通自動車（トヨタパッソ）１台が寄贈され本部に配備
	10 月	25 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を水府支団第２分団第３部に配備（更新）
			〃　　を里美支団第２分団第１部に配備（更新）
	11 月	26 日	小型動力ポンプ積載車を太田支団第２分団第２部に配備（更新）
			〃　　を太田支団第４分団第２部に配備（更新）
平成 25 年	3 月	31 日	消防団長引田勝美氏退任
	4 月	1 日	職員３名を採用職員数 88 名となる
			消防団長職務代理者として消防副団長の大畠邦幸氏就任
	4 月	27 月	第８代消防団長に益子伊三三氏就任
	10 月	28 日	消防ポンプ自動車（日野ＣＤ－Ⅰ型）を北消防署金砂出張所に配備（更新）
平成 26 年	3 月	31 日	金砂郷支団第 17 分団廃止
	4 月	1 日	金砂郷支団を 16 分団体制から４分団体制に再編し、４支団 22 分団 987 名となる
			金砂郷支団第 17 分団廃止に伴い、総務省消防庁から無償貸付された小型動力ポンプ積載車を里美支団第４分団第１部に配備
	10 月	29 日	一般社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車（トヨタハイメディック）１台が寄贈され北消防署に配備（更新）
平成 27 年	3 月	31 日	消防長福地壽之氏退任
	4 月	1 日	第 14 代消防長に江幡正紀氏就任
			職員３名を採用職員数 88 名となる
	6 月	24 日	太田さくら保育園幼年消防クラブ設立
	12 月	1 日	南消防署の通信指令室を通信統制係に改める
	12 月	3 日	いばらき消防指令センター運用開始、職員２名を派遣する
			高規格救急車（トヨタハイメディック）を南消防署に配備（更新）
	12 月	21 日	（公財）日本消防協会から福祉共済事業等により、連絡車（三菱デリカ）
			１台が交付され本部に配備（更新）
平成 28 年	4 月	1 日	南消防署の機構を一部改正し４係を３係とする
			さとみこども園幼年消防クラブ設立
	9 月	24 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を太田支団第２分団第１部に配備（更新）
			〃　　を太田支団第４分団第１部に配備（更新）
	11 月	16 日	医療社団法人茨腎会太田ネフロクリニックから高規格救急自動車（トヨタハイメディック）１台が寄贈され北消防署里美出張所に配備（更新）

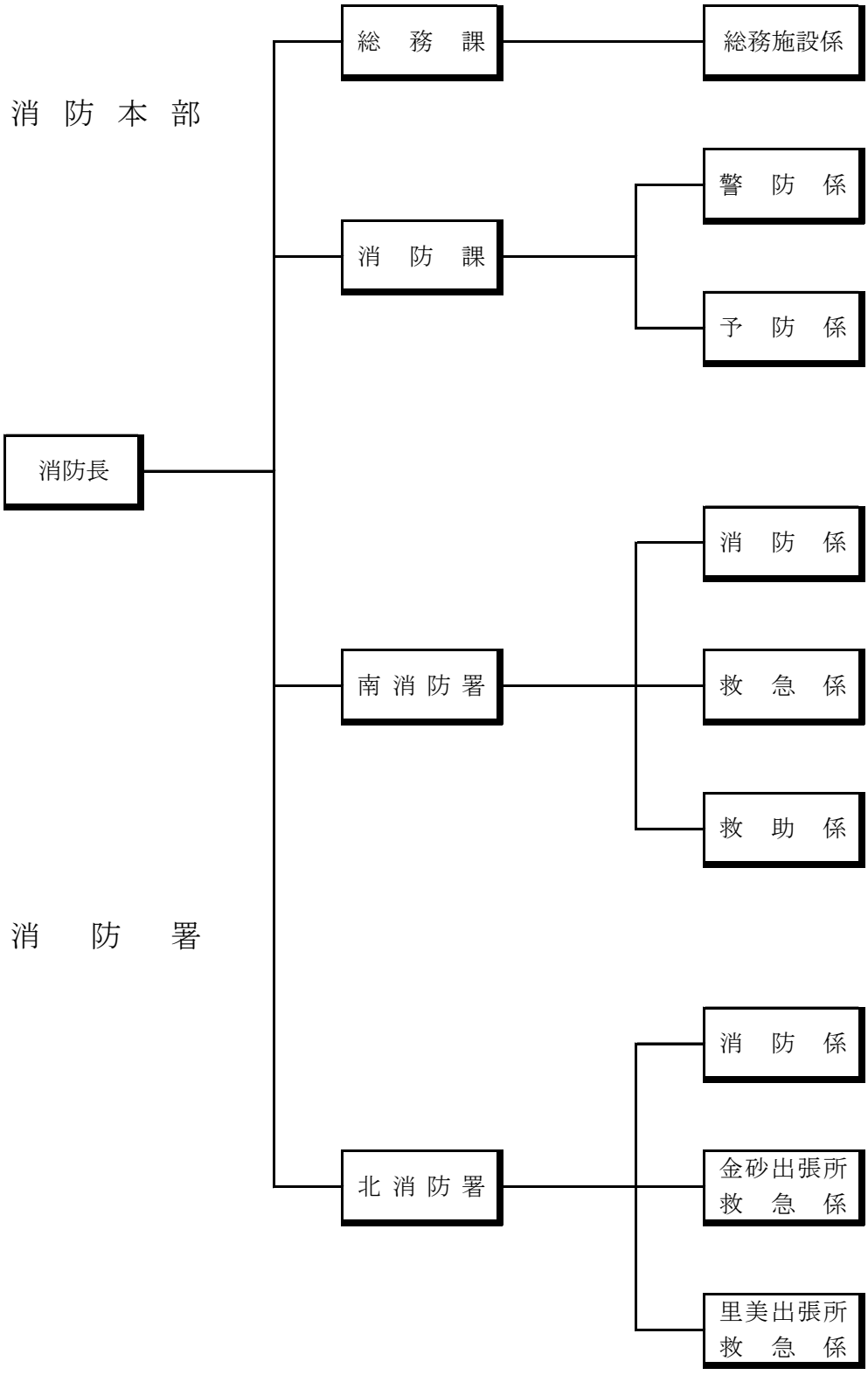
平成 28 年	12 月 3 日	小型動力ポンプ積載車を里美支団第３分団第２部に配備（更新）
平成 29 年	2 月 26 日	茨城県高速自動車道等相互応援協定を締結
	3 月 6 日	茨城県広域消防相互応援協定を締結
	3 月 31 日	消防団長益子伊三三氏退任
	4 月 1 日	第９代消防団長に大畠邦幸氏就任
		茨城県常陸大宮保健所との感染症患者移送に係る協定を締結
		常陸大宮市・大子町との相互応援協定を締結
	9 月 10 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を太田支団第１分団に配備（更新）
		〃 を金砂郷支団第３分団第１部に配備（更新）
	11 月 12 日	総務省消防庁から救助資機材・小型動力ポンプ搭載多機能車を無償貸付され、太田支団第８分団第２部に配備（更新）
平成 30 年	3 月 31 日	消防長江幡正紀氏退任
	4 月 1 日	第 15 代消防長に宇野智明氏就任
		職員２名を採用職員数 88 名となる
		水府小学校少年消防クラブ設立
		すいふこども園幼年消防クラブ設立
	11 月 4 日	小型動力ポンプ積載車を太田支団第６分団第２部に配備（更新）
		〃 を里美支団第４分団第２部に配備（更新）
平成 31 年	4 月 1 日	里美中学校少年消防クラブ設立
令和 元 年	9 月 8 日	小型動力ポンプ積載車を太田支団第３分団第２部に配備（更新）
		〃 を里美支団第１分団第１部に配備（更新）
令和 2 年	4 月 1 日	職員１名を採用職員数 88 名となる
		消防団の部を組織改編し４支団 22 分団 36 部 920 名、消防団車両 40 台とする
		水府中学校少年消防クラブ設立
		らいらっく保育園幼年消防クラブ設立
		ゆめいろ保育園 〃
	6 月 1 日	茨城県県北地区ラピッドカーの運営に関する協定を締結
令和 3 年	3 月 19 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）を金砂郷支団第１分団第１部に配備（更新）
	3 月 31 日	消防長宇野智明氏退任
		消防団長大畠邦幸氏退任
	4 月 1 日	第 16 代消防長に大関正幸氏就任
		第 10 代消防団長に佐藤信照氏就任
令和 4 年	2 月 28 日	高規格救急車（日産パラメディック）を南消防署に配備（更新）
	4 月 1 日	職員１名を採用職員数 88 名なる
	12 月 1 日	本部連絡車（三菱）デリカを北消防署に配備
	12 月 23 日	広報車（ダイハツアトレー）を本部に配備
令和 5 年	3 月 31 日	消防長大関正幸氏退任
	4 月 1 日	第 17 代消防長に後藤一人氏就任
		職員１名を採用職員数 88 名となる

12 月　12 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）を金砂郷支団第２分団第１部に配備（更新）
令和 ６ 年　４ 月　１ 日	職員４名を採用職員数 91 名となる

総務関係

消防本部・署の組織

（令和６年４月１日現在）



消 防 本 部 事 務 分 掌

消防本部	総務課	総務施設係 （１） 条例、規則等諸規定に関すること。 （２） 公印の管守に関すること。 （３） 文書図書に関すること。 （４） 儀式及び消防関係諸会議に関すること。 （５） 予算及び経理に関すること。 （６） 消防職員の人事給与に関すること。 （７） 消防職員の服務及び服制に関すること。 （８） 消防職員の福利厚生に関すること。 （９） 消防関係表彰に関すること。 (10) 消防関係公務災害及び退職報償に関すること。 (11) 消防団事務に関すること。 (12) 消防協会に関すること。 (13) 渉外に関すること。 (14) 消防施設及び資機材等の整備計画並びに配置運用に関すること。 (15) 消防施設及び資機材等の維持管理、出納保管に関すること。 (16) 消防車両自賠責保険等に関すること。 (17) 水防資機材の配置及び整備に関すること。 (18) その他、他の係に属さないこと。
	消防課	警　防　係 （１） 水・火災等警防対策に関すること。 （２） 消防相互応援に関すること。 （３） 消防職団員の訓練指導に関すること。 （４） 救急、救助に関すること。 （５） 水防事務及び水防訓練の指導に関すること。 （６） 消防訓練の指導に関すること。 （７） 民間防火クラブの指導に関すること。 （８） 現地指揮本部の設置に関すること。 （９） その他警防に関すること。
		予　防　係 （１） 火災原因、損害調査及びり災証明に関すること。 （２） 広報及び広聴に関すること。 （３） 防火対象物の査察指導及び違反処理に関すること。 （４） 消防用設備等の設置及び指導に関すること。 （５） 建築物の同意に関すること。 （６） 火災統計及び防火資料に関すること。 （７） 予防関係各種届出に関すること。 （８） 防火管理者の講習及び指導に関すること。 （９） 危険物等の規制及び査察指導に関すること。 (10) 危険物取扱者の指導に関すること。 (11) 液化石油ガス施設の指導に関すること。 (12) 危険物安全協会に関すること。 (13) その他予防に関すること。

南消防署・北消防署事務分掌

水・火災等災害の警戒、防ぎょに関すること。

南消防署	消　防　係 （1）　水・火災等の警防に関すること。 （2）　消防資機材及び消防車両の維持管理に関すること。 （3）　地理、水利に関すること。 （4）　水防事務に関すること。 （5）　文書事務に関すること。 （6）　公印の管守に関すること。 （7）　指令センターに関すること。 （8）　その他通信業務に関すること。
消防署	救　急　係 （1）　救急統計に関すること。 （2）　救急資機材及び救急車両の維持管理に関すること。 （3）　医療情報に関すること。 （4）　救急訓練及び救急法の指導に関すること。 （5）　消防広報に関すること。 （6）　その他救急業務に関すること。
北消防署	救　助　係 （1）　救助統計に関すること。 （2）　救助資機材及び救助工作車の維持管理に関すること。 （3）　消防訓練及び救助訓練に関すること。 （4）　火災原因及び損害調査に関すること。 （5）　火災予防条例関係各種届出に関すること。 （6）　査察指導に関すること。 （7）　建築物の同意事務に関すること。 （8）　危険物に関すること。 （9）　署職員の福利厚生に関すること。 (10)　署の庶務、経理に関すること。 (11)　その他救助業務に関すること。

水・火災等災害の警戒、防ぎょに関すること。

北 消 防 署	消　防　係 （１）　水・火災等の警防に関すること。 （２）　消防資機材、救助資機材及び消防車両の維持管理に関すること。 （３）　地理、水利の調査に関すること。 （４）　消防訓練及び救助訓練に関すること。 （５）　火災の原因及び損害の調査に関すること。 （６）　火災予防条例関係各種届出に関すること。 （７）　査察指導に関すること。 （８）　救急資機材及び救急車両の維持管理に関すること。 （９）　救急訓練及び救急法の指導に関すること。 (10)　消防広報に関すること。 (11)　署職員の福利厚生に関すること。 (12)　署の庶務、経理及び文書事務に関すること。 (13)　その他救急業務に関すること。
	金砂出張所救急係 （１）　救急及び消防の資機材及び車両の維持管理に関すること。 （２）　救急及び消防訓練に関すること。 （３）　火災原因及び損害の調査に関すること。 （４）　査察指導に関すること。 （５）　その他救急及び警防業務に関すること。
	里美出張所救急係 （１）　救急及び消防の資機材及び車両の維持管理に関すること。 （２）　救急及び消防訓練に関すること。 （３）　火災原因及び損害の調査に関すること。 （４）　査察指導に関すること。 （５）　その他救急及び警防業務に関すること。

消防力の基準と現有消防力

（令和６年４月１日現在）

区　　分	基準消防力	現有消防力	比　　較	充　足　率
署　　・　　所	4	4		100%
消防ポンプ自動車	6	5		83%
救助工作車	2	1	△ 1	50%
救　　急　　車	5	5		100%
消　防　職　員	129	91	△ 38	71%

消防職員階級別年齢表

（令和６年４月１日現在）

階級／年齢別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	計
18歳～ 20歳未満						1		1
20歳～ 25歳未満						5		5
25歳～ 30歳未満					4	1		5
30歳～ 35歳未満				7	1			8
35歳～ 40歳未満			7	9				16
40歳～ 45歳未満			10					10
45歳～ 50歳未満			18					18
50歳～ 55歳未満		17	3					20
55歳以上	1	5	1				1	8
計	1	22	39	16	5	7	1	91
平均年齢	43.2歳							

※出向者１名（市総務部防災対策課）は含まない。
※再任用職員は含まない。

消防職員配置状況

（令和６年４月１日現在）

所属別／階級	消防本部	南消防署	北消防署	計
消防司令長	1			1
消 防 司 令	4	7	8	19
消防司令補	8	20 (1)	13	41 (1)
消 防 士 長	3	8	6	17
消防副士長		1	4	5
消 防 士		6	1	7
事 務 職 員	1			1
計	17	42 (1)	32	91 (1)

※(　)内数字は本部兼務職員とし、南消防署の実数に含まない。
※出向者１名（市総務部防災対策課）は、実数に含まない。
※再任用職員は、実数に含まない。

消防職員階級別資格等取得状況

（令和６年４月１日現在）

区分	種別／階級	消防司令補以上	消防士長	消防副士長	消防士	計
自動車	大型自動車	50	11			61
	中型自動車	61	17	4		82
	普通自動車	12	6	5	7	30
	牽引自動車		2			2
	大型自動二輪	13	2			15
	中型自動二輪	23	4		1	28
	車両系建設機械運転講習会修了者	1				1
	大型２種免許	1				1
救急関係	救急救命士	19	9		3	31
	指導救急救命士	9				9
	気管挿管認定救命士	17				17
	薬剤投与認定救命士	19	9		3	31
	拡大二処置認定救命士	17	9		3	29
	ＢＬＳ（一次救命処置）	34	14	4	3	55
	ＡＣＬＳ（二次救命処置）	9	3		1	13
	ＩＣＬＳ（二次救命処置）	13	7	1		21
	ＩＳＬＳ（脳卒中初期治療）	10	6			16
	ＰＳＬＳ（脳卒中病院前救護）	10	4			14
	ＰＡＬＳ（小児二次救命処置）			1		1
	ＰＥＡＲＳ（小児緊急時評価認識安定化）	2	11	1		14
	ＭＣＬＳ（多数傷病者への医療対応標準化トレーニングコース）	28	12	1		41
	ＪＰＴＥＣ（外傷病院前救護）	22	14	3	2	41
	ＩＴＬＳ（病院前外傷処置教育）	3	2			5

区分		階級 / 種別	消防司令補以上	消防士長	消防副士長	消防士	計
救急関係		ITLS（アクセス）	6	4	1		11
		エマルゴトレーニング	5				5
		POT（救急救命士心肺停止前トレーニング）	1	2			3
		PUSH（胸骨圧迫とAEDトレーニングコース）	2				2
		MCLS MCSTAコース	1				1
		PEMEC（内因病院前救護）	1	2			3
		DPAT（災害派遣精神医療コース）	2				2
		NCPR（新生児蘇生法プレホスピタルコース）	1	1		1	3
		BLSOプロバイダーコース		1		1	2
無線関係		第二級陸上特殊無線技士	60	4			64
		第三級陸上特殊無線技士	1	12	5	1	19
		航空特殊無線技士	2				2
		第四級アマチュア無線	1				1
船舶関係		二級小型船舶操縦士	12	4	2		18
		二級小型船舶操縦士（1マイル）	2				2
		二級小型船舶操縦士（湖川小出力限定）	2	1			3
		潜水士	21	6	2		29
予防関係		危険物取扱者（乙種一類）	3	1			4
		危険物取扱者（乙種二類）	4				4
		危険物取扱者（乙種三類）	4				4
		危険物取扱者（乙種四類）	25	15	5	3	48
		危険物取扱者（乙種五類）	5	1			6
		危険物取扱者（乙種六類）	4	1			5
		消防設備士（甲種一類）	1				1
		消防設備士（甲種二類）	1				1
		消防設備士（甲種三類）	1				1
		消防設備士（甲種四類）	1				1
		消防設備士（甲種五類）	1				1
		消防設備士（乙種四類）			1		1
		消防設備士（乙種六類）	3	1			4
		消防設備士（乙種七類）	1				1
		消防設備点検資格者（一種）	1				1
		予防技術検定（防火査察）	6	3			9
		予防技術検定（危険物）	6				6
		予防技術検定（消防用設備等）	5				5
消防大学校		幹部科	2				2
		警防科	4				4
		救急科	1				1
		救助科	2				2
		予防科	2				2
消防学校	専科教育	救急科	61	10	5		76
		救助科	38	8	2		48
		特殊災害科	5	3			8
		火災調査科	34	2			36
		危険物科	5	2			7
		警防科	11	4			15
		予防査察科	10				10

区分		種別＼階級	消防司令補以上	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防学校	幹部教育	初級幹部科	4				4
		中級幹部科	3				3
	特別教育	潜水講習会	13	1			14
		水難救助課程	5	4	2		11
		操法指導者研修会	27				27
		薬剤投与講習会	10	2			12
		新２処置講習会	13	7			20
その他		玉掛け技能講習修了者	49	14	5	1	69
		小型移動式クレーン運転技能講習修了者	45	13	4		62
		レスキュースリー	17	8	3		28
		移動式クレーン定期自主検査者	5	3			8
		高所作業車運転技能講習修了者	1				1
		第二種衛生管理者	1				1
		アーク溶接技能講習修了者	4				4
		ガス溶接技能講習修了者	4	1			5
		１６ｍｍ映写技術者	1				1
		電気工事士	1				1
		特定化学物質等作業主任者	9				9
		国家二級自動車整備士	1				1
		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	10	5			15
		動力巻上機（ウィンチ）運転業務特別教育	11	6	1		18
		ＥＤＬＳ（災害実践教育研修会）	8				8
		フォークリフト運転免許	1				1
		食品衛生責任者	1				1
		着衣泳指導員	1				1
		刈払機取扱い作業者	6				6
		振動工具安全教育	1				1
		木造解体作業指揮者	1				1
		チェーンソー作業従事者特別教育講習	3	1	1		5
		自由研削砥石特別教育	2	4	2		8
		ワイヤーロープ点検基準講習会	2	1	1		4
		建築物応急危険度測定士	3	2			5
		CSR/Mベーシック	4	1			5
		CSR/Mスタッフ	2				2
		フルハーネス型墜落制止用器具に係る安全衛生特別教育	5	3	2		10
		特別管理産業廃棄物管理責任者	8	4			12
		ドローン操縦士資格証明認定	5	1			6
		二等無人航空機操縦士	3				3
		危険物・テロ災害初動対応訓練（基礎コース）	1				1

消 防 予 算 の 推 移

（単位：千円）

区分／年度別	消防費	予算内訳				
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	災害対策費
令和元年度	1,003,961	805,427	100,743	34,933	525	62,333
令和２年度	1,108,206	825,171	95,197	43,068	520	144,250
令和３年度	1,206,634	832,515	89,729	58,891	517	224,982
令和４年度	1,465,633	811,551	85,540	37,675	511	530,356
令和５年度	1,436,057	829,574	79,862	37,873	484	488,264

人口・世帯当たりの消防費の推移

（令和５年４月１日現在）

区分／年度別	消防予算	人口一人当たりの消防費	一世帯当たりの消防費
令和元年度	1,003,961 千円	20,389 円	51,935 円
令和２年度	1,108,206 千円	22,934 円	57,336 円
令和３年度	1,206,634 千円	24,156 円	56,347 円
令和４年度	1,465,633 千円	29,972 円	68,906 円
令和５年度	1,436,057 千円	29,970 円	67,973 円

消 防 庁 舎 の 概 要

		消防本部・南消防署	北消防署	金砂出張所		里美出張所(車庫棟)	
所　在　地		常陸太田市 山下町1,693番地	常陸太田市 中染町2,818番地の1	常陸太田市 下宮河内町37番地の2		常陸太田市 大中町1,653番地	
敷地面積		6,018.23㎡	2,493.53㎡	4,837.00㎡		常陸太田市役所 里美支所敷地内	
竣　　工		平成16年1月15日	平成6年3月24日	平成24年3月14日		平成18年9月22日	
庁舎	構　造	鉄筋コンクリート造 3階建	鉄骨造2階建	事務所棟 木造平家建	車庫棟 鉄骨造平家建	事務所棟 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造2階建	車庫棟 鉄骨造平家建
	建築面積	1,483.83㎡	389.16㎡	385.06㎡	96.76㎡	372.03㎡	105.91㎡
	延べ面積	2,681.26㎡	564.36㎡	288.17㎡	96.76㎡	129.96㎡	105.91㎡
備　　考				健康センターこもれび（調理室、多目的室）共有施設		事務室等は、常陸太田市役所里美支所2階部分の一部を使用し、使用部分の延べ面積のみを記載	

消 防 車 両 の 現 勢

	車両名・車両・型式	配備年月日	備　　考
消防本部	広報車（トヨタ）ヴォクシー	H 15. 8. 22	
	広報車（ダイハツ）アトレー	R 4. 12. 23	
	連絡車（トヨタ）ハイエース	R 4. 12. 21	
	乗用車（日産）ティアナ	H 17. 6. 8	
	搬送車（三菱）キャンター	H 15. 7. 11	２ｔクレーン付
	訓練指導車（マツダ）タイタン	H 18. 9. 6	
	防災車（トヨタ）パッソ	H 24. 10. 31	
南消防署	指揮車（トヨタ）チェイサー	H 9. 3. 24	
	搬送車(日産）アトラス	H 16. 12. 1	旧金砂郷町から
	水槽付消防ポンプ自動車（日野）Ｉ－Ｂ型	H 17. 2. 14	水槽1,500ℓ
	消防ポンプ自動車（日野）ＣＤ－Ｉ型	H 25. 10. 28	
	高規格救急自動車（トヨタ）	H 24. 4. 1	
	高規格救急自動車（日産）	R 4. 2. 28	
	救助工作車（日野）Ⅱ型	H 15. 2. 27	
北消防署	水槽付消防ポンプ自動車（日野）Ｉ－Ｂ型	H 21. 11. 30	水槽1,500ℓ
	高規格救急自動車（トヨタ）	H 26. 10. 29	(一社）日本損害保険協会から車両本体を寄贈
	連絡車（三菱）デリカ	R 4. 12. 1	(公財）日本消防協会より交付(H27. 12. 21)
金砂出張所	消防ポンプ自動車（日野）ＣＤ－Ｉ型	H 19. 12. 19	
	高規格救急自動車（トヨタ）	H 27. 12. 3	
里美出張所	消防ポンプ自動車（日野）ＣＤ－Ｉ型	H 24. 5. 15	
	高規格救急自動車（トヨタ）	H 28. 11. 16	医療社団法人茨腎会太田ネフロクリニックから寄贈

消 防 水 利 の 現 況

（令和６年４月１日現在）

水利区分＼地区別			常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区	計
消火栓	公設	150㎜以上	２６０	７４	２７	２１	３８２
		150㎜未満	２２３	１６２	５４	６９	５０８
	私設	150㎜以上	8				8
		150㎜未満	6				6
	小計		４９７	２３６	８１	９０	９０４
防火水槽	公設	100㎥以上	4				4
		40～100㎥未満	２４２	１１５	１６９	７５	６０１
		20～40㎥未満	１９	3	9		３１
		20㎥未満	６０	３４	2		９６
	私設	100㎥以上	1				1
		40～100㎥未満	２３	3	1		２７
		20～40㎥未満					
		20㎥未満					
	小計		３４９	１５５	１８１	７５	７６０
その他	河川・溝等		2		1	4	7
	プール			2	2	1	5
	小計		2	2	3	5	１２
計			８４８	３９３	２６５	１７０	1,６７６

予防・通信施設関係

防 火 対 象 物 調

用途別 ＼ 地区別			常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区	計
1	イ	劇場・観覧場					
	ロ	公会堂・集会場	78	33	33	47	191
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等	1				1
	ハ	風俗店等					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	待合・料理店	3				3
	ロ	飲食店	26	7	3	4	40
4		店舗等	58	6	3	5	72
5	イ	旅館・ホテル等	22	25	18	15	80
	ロ	共同住宅等	61	3		1	65
6	イ	病院・診療所	24	3	3	2	32
	ロ	老人短期入所施設等	18	10	8	2	38
	ハ	老人デイサービスセンター等	34	12	7	1	54
	ニ	特別支援学校等	5				5
7		学校	35	4	1	2	42
8		図書館・博物館	2				2
9	イ	熱気浴場等					
	ロ	公衆浴場等		1	1	1	3
10		停車場・発着場	1				1
11		神社・寺院等	19	6	1		26
12	イ	工場・作業場	98	48	16	11	173
	ロ	映画スタジオ等					
13	イ	車庫・駐車場	7	2	1		10
	ロ	航空機の格納庫					
14		倉庫	44	23	2	2	71
15		事務所等	119	33	22	15	189
16	イ	特定複合対象物	27	2	6	2	37
	ロ	複合で上記以外	9	2	1		12
17		重要文化財	10	3	2	4	19
計			701	223	128	114	1,166

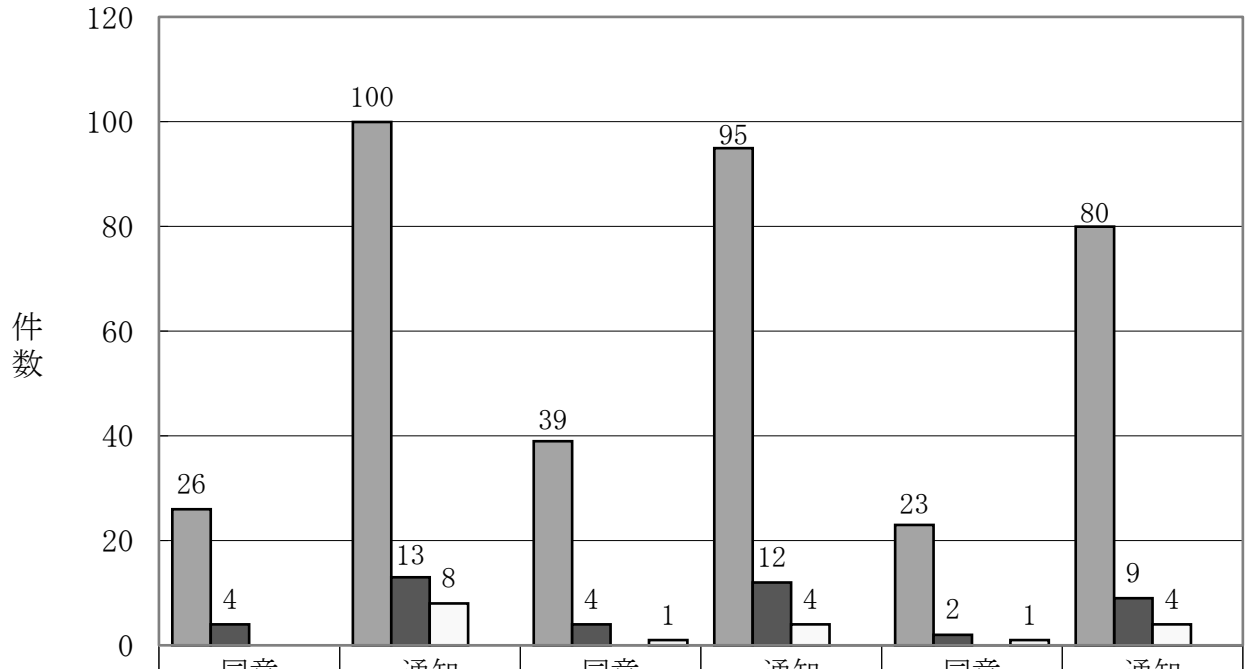
建築同意及び通知処理状況

（令和５年）

区分＼月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
同意		3	3	1	2	1	1	3	3	3	2	1	3	26
通知		4	2	7	11	6	10	6	11	6	12	11	7	93
工事種別	新築	3	1	1	1	1	1	3	3	3	2	1	3	23
		4	2	6	8	6	6	6	11	5	12	8	6	80
	増築		2											2
					3		3			1		2		9
	改築													
				1			1					1	1	4
	移転				1									1

※工事種別欄の上段は同意、下段は通知
※工事種別に関しては建築物別によるもの
※月別に関しては同意日によるもの

過去３年間の年別建築同意及び通知処理状況



	令和３年 同意	令和３年 通知	令和４年 同意	令和４年 通知	令和５年 同意	令和５年 通知
■新築	26	100	39	95	23	80
■増築	4	13	4	12	2	9
□改築		8		4		4
□用途変更			1		1	

建築同意月別用途別状況

（令和５年）

用途別＼月別			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
1	イ	劇場・観覧場													
	ロ	公会堂・集会場							1						1
2	イ	キャバレー等													
	ロ	遊技場等													
	ハ	風俗店等													
	ニ	カラオケボックス等													
3	イ	待合・料理店													
	ロ	飲食店						1							1
4		店舗等	2						1		2		1	2	8
5	イ	旅館・ホテル等													
	ロ	共同住宅等													
6	イ	病院・診療所													
	ロ	老人短期入所施設等										1			1
	ハ	老人デイサービスセンター等													
	ニ	特別支援学校等													
7		学校													
8		図書館・博物館													
9	イ	熱気浴場等													
	ロ	公衆浴場等													
10		停車場・発着場													
11		神社・寺院等													
12	イ	工場・作業場					1								1
	ロ	映画スタジオ等													
13	イ	車庫・駐車場													
	ロ	航空機の格納庫													
14		倉庫		1		1									2
15		事務所等	1	1											2
16	イ	特定複合対象物													
	ロ	複合で上記以外													
17		重要文化財													
重層長屋									1	3		1			5
農業用倉庫					1						1			1	3
倉庫業を営まない倉庫				1		1									2
計			3	3	1	2	1	1	3	3	3	2	1	3	26

防火管理者講習会実施状況

種別＼年別	講習修了者（人）				
	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
甲種防火管理者新規講習会	28	20	29	29	25

※防火管理者資格取得講習会

昭和41年～令和５年の実施回数　５６回　　資格取得者数　２，４９４名

防火管理者選任届出状況

防火対象物の区分＼項目別・地区別			防火管理者の選任を要する防火対象物					防火管理者の選任届出済み防火対象物				
			常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区	計	常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区	計
1	イ	劇場・観覧場										
	ロ	公会堂・集会場	20	21	14	5	60	15	5	6	4	30
2	イ	キャバレー等										
	ロ	遊技場等	1				1	1				1
	ハ	風俗店等										
	ニ	カラオケボックス等										
3	イ	待合・料理店	3				3	3				3
	ロ	飲食店	12	1	1	2	16	12	1	1	2	16
4		店舗等	37	2	2	3	44	37	2	1	1	41
5	イ	旅館・ホテル等	8	2	3	6	19	7	2	3	6	18
	ロ	共同住宅等	1	1			2	1				1
6	イ	病院・診療所	9	1		1	11	9	1		1	11
	ロ	老人短期入所施設等	18	6	8	1	33	18	6	8	1	33
	ハ	老人デイサービスセンター等	14	2	2	1	19	14	2	2	1	19
	ニ	特別支援学校等	3				3	3				3
7		学校	11	2	1	1	15	11	2	1	1	15
8		図書館・博物館	1				1	1				1
9	イ	熱気浴場等										
	ロ	公衆浴場等		1		1	2		1		1	2
10		停車場・発着場										
11		神社・寺院等	6	1			7	4	1			5
12	イ	工場・作業場	19	1	1	11	32	19	1	1	11	32
	ロ	映画スタジオ等										
13	イ	車庫・駐車場										
	ロ	航空機の格納庫										
14		倉庫		1			1		1			1
15		事務所等	39	7	4	2	52	29	7	3	2	41
16	イ	特定複合対象物	15	2	2	1	20	10	2	2		14
	ロ	複合で上記以外										
17		重要文化財										
計			217	51	38	35	341	194	34	28	31	287

予防関係届出及び申請等受理状況

（令和５年）

区分＼地区別	常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区	そ の 他	計
工事整備対象設備等着工届出書	15	9	2	2		28
消防用設備等設置届出書	101	14	8	7		130
消防用設備等点検結果報告書	271	86	39	53		449
防火対象物使用開始届出書	48	5	4	5		62
防火対象物点検結果報告書	14	2	3	4		23
防火管理者選（解）任届出書	61	7	6	5		79
防火管理者修了証再交付申請書	2				3	5
消防計画作成（変更）届出書	79	13	17	7		116
自衛消防訓練通知書	181	28	34	19		262
ボイラー設備設置届出書	1	1				2
乾燥設備設置届出書	1					1
サウナ設備設置届出書			1			1
変電設備設置届出書	14	3				17
発電設備設置届出書	3	1				4
蓄電池設備設置届出書	6		1	3		10
少量危険物貯蔵取扱届出書	5		3	1		9
少量危険物貯蔵取扱廃止届出書	3		3	2		8
露店等の開設届出書	17	3	2			22
圧縮アセチレン等貯蔵取扱届出書	12			1		13
圧縮アセチレン等の廃止届出書			1			1
揚煙届	90	5	2	2		99
通行止届出書	113	36	16	15		180
煙火打ち上げ届出書	4	3	2	1		10
罹災証明書交付申請書	8	2				10
消防訓練実施結果報告書	1					1
消防用設備等の特例認定申請書	5		1			6
液化石油ガス設備工事届出書	3					3
指定可燃物貯蔵取扱届出書	3					3
消防法令適合通知書交付申請書	1			1	1	3
水道断水届出書	1					1
資料提出書	1					1
借用申請書	1					1
計	1,065	218	145	128	4	1,560

※地区別欄のうち、その他については、常陸太田市居住者以外の申請によるもの。

危険物事務処理状況

区分 / 申請届出別		製造所	貯蔵所							取扱所			その他	計
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般		
設置許可														
変更許可										2		1		3
完成検査前検査	水張													
	水圧													
完成検査	設置					1				1				2
	変更									2		1		3
	他許可行政庁に転出													
	他許可行政庁から転入													
承認	仮貯蔵													
	仮取扱												2	2
	仮使用									2				2
予防規程認可										2				2
予防規程軽微変更届出書			1							4				5
廃止届			1			1		1		2				5
保安監督者選（解）任届			2	3		1				4		1		11
品名、数量又は指定数量の倍数変更届			1											1
軽微な変更届				1		1				4				6
完成検査済証再交付申請書				1										1
地下タンク等の在庫の管理及び危険物の漏えい時の措置に関する計画届出書										1			1	2
譲渡引渡届出書				1										1
資料の提出届			1			2				3		1		7
立入検査			3	3		2		5		10		3		26

危険物製造所等の施設数

製造所別 / 数量別	施設数	製造所	貯蔵所								取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	販売	一般	小計
５倍以下	67		12	7	1	25		12		57	2		8	10
５倍を超え１０倍以下	21		4	4		5		1		14	2		5	7
１０倍を超え５０倍以下	20			1		3		2	1	7	7		6	13
５０倍を超え１００倍以下	14		1	2		1				4	10			10
１００倍を超え１５０倍以下	3										3			3
１５０倍を超え２００倍以下	2										2			2
２００倍を超え１，０００倍以下	4										4			4
１，０００倍を超え１，５００倍以下	1		1							1				
計	132		18	14	1	34		15	1	83	30		19	49

危険物製造所等の地区別施設数

区分 / 地区別	常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区	計
製造所					
屋内貯蔵所	11	7			18
屋外タンク貯蔵所	9	3	1	1	14
屋内タンク貯蔵所		1			1
地下タンク貯蔵所	25	3	4	2	34
簡易タンク貯蔵所					
移動タンク貯蔵所	8	2	1	4	15
屋外貯蔵所	1				1
給油取扱所	15	9	3	3	30
販売取扱所					
一般取扱所	13	6			19
計	82	31	9	10	132

通信施設設置状況

消防用無線機

（令和６年４月１日現在）

区分		呼出名称	出力	活動波１	活動波２	活動波３	主運用波	統制波１	統制波２	統制波３	防災相互
固定局		しょうぼうえんかくひたちおおた		○	○	○	○	○	○	○	
移動局	本部・南消防署	ひたちおおたほんぶしき　１	5W	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたほんぶれんらく　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたほんぶこうほう　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたほんぶはんそう　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたみなみたんく　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたみなみたんく　２	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたみなみぽんぷ　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたみなみきゅうじょ　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたみなみきゅうきゅう　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたみなみきゅうきゅう　２	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
	北消防署	ひたちおおたきたたんく　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたきたきゅうきゅう　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたきたれんらく　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたかなさぽんぷ　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたかなさきゅうきゅう　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたさとみぽんぷ　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
		ひたちおおたさとみきゅうきゅう　１	〃	○	○	○	○	○	○	○	○
携帯局	本部・南消防署	ひたちおおたほんぶ２０１	2W	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたほんぶ２０２	〃	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたほんぶ２０３	〃	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたほんぶ６０１	5W	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたみなみたんく１０１	2W	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたみなみたんく１０２	〃	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたみなみぽんぷ１０１	〃	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたみなみきゅうじょ１０１	〃	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたみなみきゅうきゅう１０１	〃	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたみなみきゅうきゅう１０２	〃	○	○	○	○	○	○	○	
	北消防署	ひたちおおたきた２０１	〃	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたきたたんく１０１	〃	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたきたきゅうきゅう１０１	〃	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたかなさ２０１	〃	○	○	○	○	○	○	○	
		ひたちおおたさとみ２０１	〃	○	○	○	○	○	○	○	

消防用簡易無線機

区分		呼出名称	出力	ＣＨ１	ＣＨ２	関東共通	防災相互	緊援隊１～14ＣＨ
携帯局	本部・南消防署	しょかつみなみ１０１	1W	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１０２	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１０３	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１０４	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１０５	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１０６	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１０７	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１０８	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１０９	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１１０	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１１１	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１１２	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１１３	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつみなみ１１４	〃	○	○	○	○	○（1～14）
	北消防署	しょかつきた１０１	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつきた１０２	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつきた１０３	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつきた１０４	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつきた１０５	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつかなさ１０１	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつかなさ１０２	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつかなさ１０３	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつさとみ１０１	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつさとみ１０２	〃	○	○	○	○	○（1～14）
		しょかつさとみ１０３	〃	○	○	○	○	○（1～14）

備　考・消防用無線機の移動局（車載無線機）はデュアルタイプ式、携帯局はデジタル式
・活動波３局（太田１消、太田２、太田３救）　主運用波（県内共通波）　統制波３局（全国共通波）
・防災相互とはアナログ式で他の防災関係機関所属の無線局と通信を行う場合に使用
・消防用簡易無線機はアナログ式
・常陸太田市内活動波用基地局は３局（消防金砂郷、消防水府、消防里美）

デジタル簡易無線機

（令和６年４月１日現在）

区分	配置署所	固定無線	携帯無線
消防本部	南 消 防 署	みなみ消防	みなみ消防１
			みなみ消防２
	北 消 防 署	き た 消 防	き た 消 防１
			き た 消 防２
	金砂出張所	かなさ消防	かなさ消防１
	里美出張所	さとみ消防	さとみ消防１

区分	所属	呼出名称
太田支団	太田１	おおた１分団
		おおた携帯１分団
	太田２－１	おおた２分団１部
		おおた携帯２分団１部
	太田２－２	おおた２分団２部
		おおた携帯２分団２部
	太田３－１	おおた３分団１部
		おおた携帯３分団１部
	太田３－２	おおた３分団２部
		おおた携帯３分団２部
	太田４－１	おおた４分団１部
		おおた携帯４分団１部
	太田４－２	おおた４分団２部
		おおた携帯４分団２部
	太田５－１	おおた５分団１部
		おおた携帯５分団１部
	太田５－２	おおた５分団２部
		おおた携帯５分団２部
	太田６－１	おおた６分団１部
		おおた携帯６分団１部
	太田６－２	おおた６分団２部
		おおた携帯６分団２部
	太田７	おおた７分団
		おおた携帯７分団
	太田８－１	おおた８分団１部
		おおた携帯８分団１部
	太田８－２	おおた８分団２部
		おおた携帯８分団２部
	太田９	おおた９分団
		おおた携帯９分団

区分	所属	呼出名称
金砂郷支団	金砂郷１－１	かなさごう１分団１部
		かなさごう携帯１分団１部
	金砂郷１－２	かなさごう１分団２部
		かなさごう携帯１分団２部
	金砂郷２－１	かなさごう２分団１部
		かなさごう携帯２分団１部
	金砂郷２－２	かなさごう２分団２部
		かなさごう携帯２分団２部
	金砂郷３－１	かなさごう３分団１部
		かなさごう携帯３分団１部
	金砂郷３－２	かなさごう３分団２部
		かなさごう携帯３分団２部
	金砂郷４－１	かなさごう４分団１部
		かなさごう携帯４分団１部
	金砂郷４－２	かなさごう４分団２部
		かなさごう携帯４分団２部

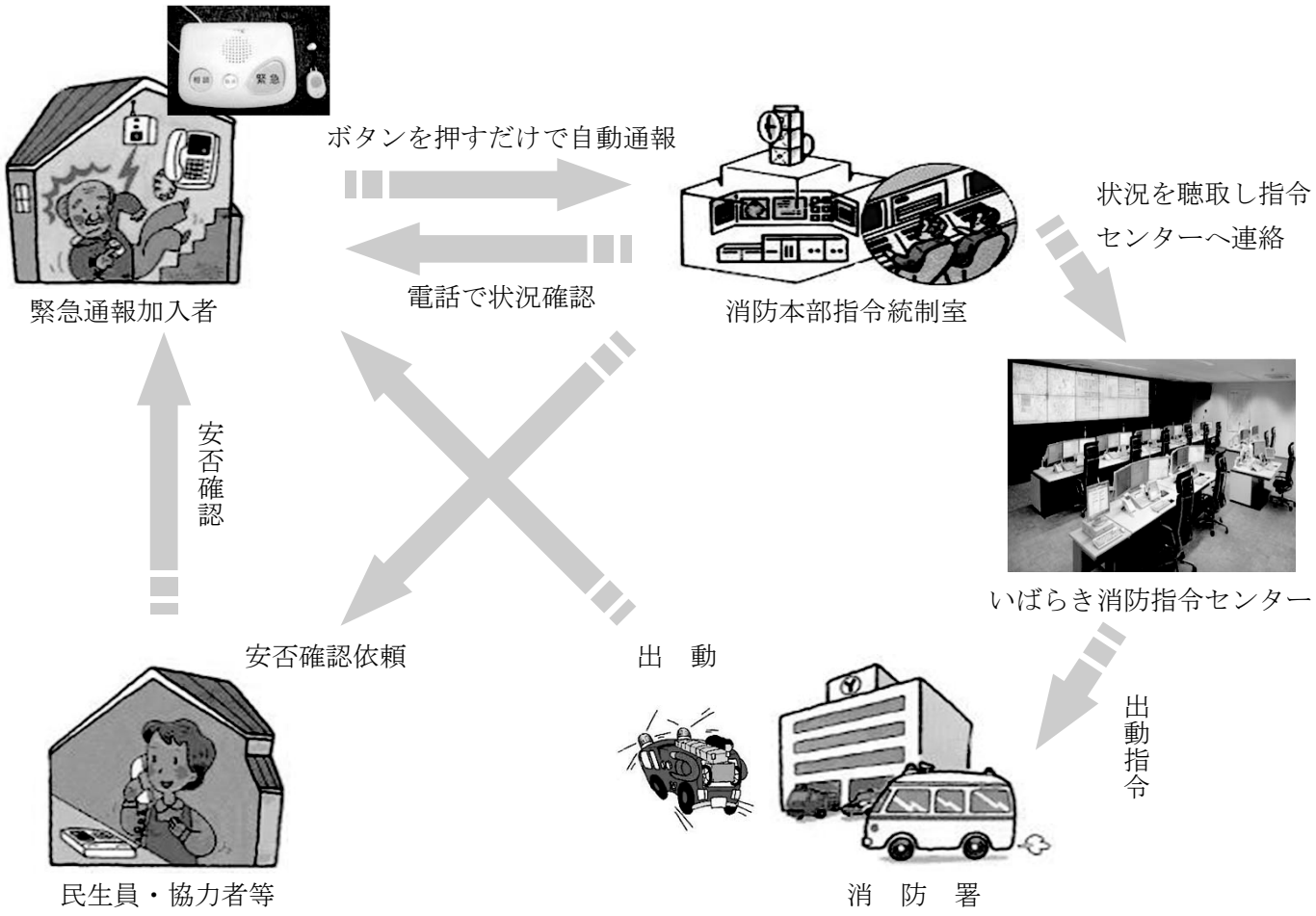
参考　固定無線　４基　　車載無線　40基
　　携帯無線　74基

区分	所属	呼出名称
水府支団	水府１－１	すいふ１分団１部
		すいふ携帯１分団１部
	水府１－２	すいふ１分団２部
		すいふ携帯１分団２部
	水府２－１	すいふ２分団１部
		すいふ携帯２分団１部
	水府２－２	すいふ２分団２部
		すいふ携帯２分団２部
	水府３－１	すいふ３分団１部
		すいふ携帯３分団１部
	水府３－２	すいふ３分団２部
		すいふ携帯３分団２部
	水府４－１	すいふ４分団１部
		すいふ携帯４分団１部
	水府４－２	すいふ４分団２部
		すいふ携帯４分団２部
	水府４－２（機能別）	すいふ４分団２部機能別消防隊
		すいふ携帯４分団２部機能別消防隊

区分	所属	呼出名称
里美支団	里美１－１	さとみ１分団１部
		さとみ携帯１分団１部
	里美１－２	さとみ１分団２部
		さとみ携帯１分団２部
	里美２－１	さとみ２分団１部
		さとみ携帯２分団１部
	里美２－２	さとみ２分団２部
		さとみ携帯２分団２部
	里美３－１	さとみ３分団１部
		さとみ携帯３分団１部
	里美３－２	さとみ３分団２部
		さとみ携帯３分団２部
	里美４－１	さとみ４分団１部
		さとみ携帯４分団１部
	里美４－２	さとみ４分団２部
		さとみ携帯４分団２部

区分	所属	呼出名称
団本部携帯	団本部１	しょうぼう団長
	団本部２	○○副団長
	団本部３	△△副団長
	団本部４	□□副団長
	団本部５	◇◇副団長
	団本部６～７	おおた支団長・副支団長
	団本部８～９	かなさごう支団長・副支団長
	団本部 10 ～ 11	すいふ支団長・副支団長
	団本部 12 ～ 13	さとみ支団長・副支団長
	団本部 14 ～ 17	かなさごう○○指導員（4名）
	団本部 18	すいふ○○指導員
	団本部 19 ～ 28	団本部予備機（10 基）

緊急通報システム系統図



緊急通報システム利用者登録状況

（令和６年４月１日現在）

地区別／男女別	常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区	計
男　　性	205	57	46	33	341
女　　性	482	136	110	74	802
計	687	193	156	107	1,143

緊急通報システム処理状況

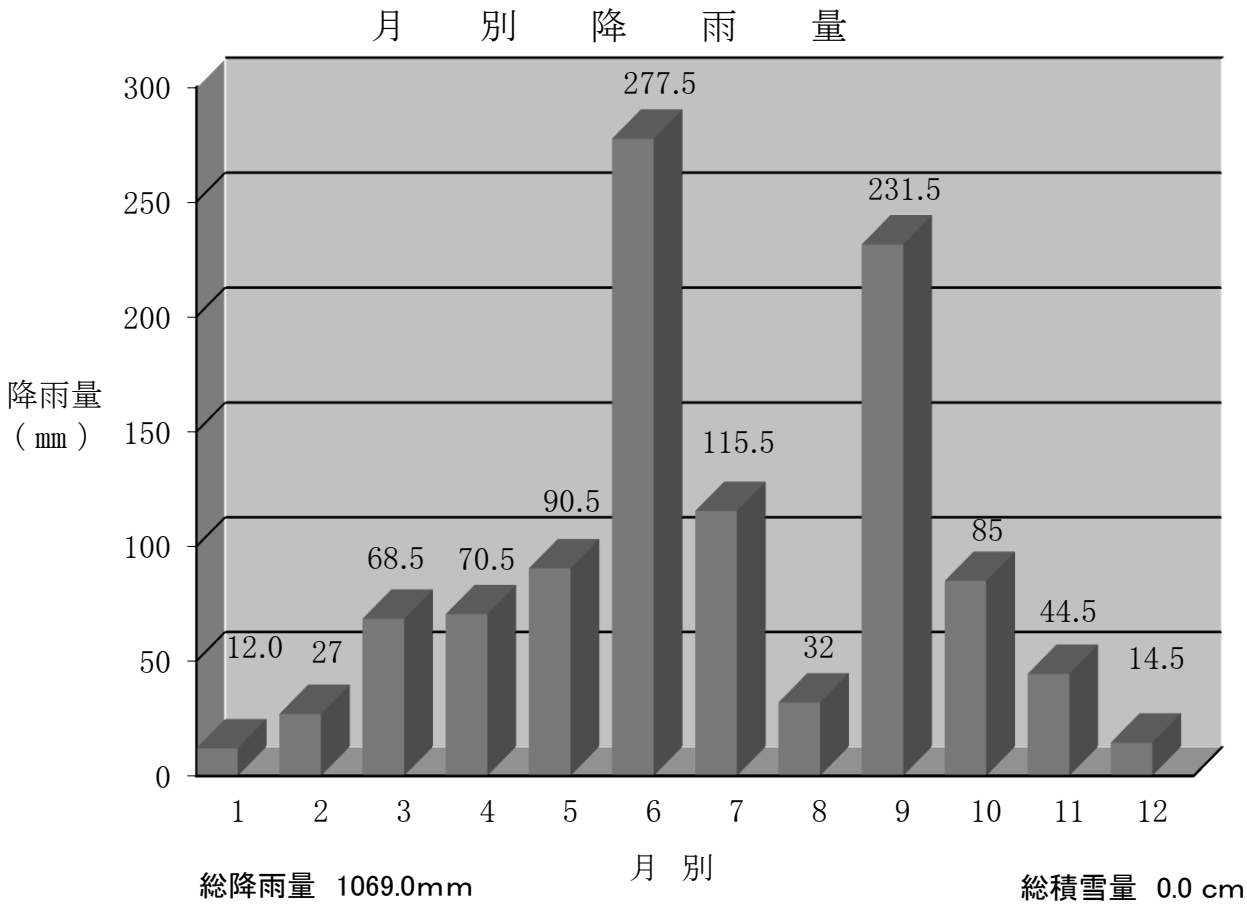
（令和５年１月１日～令和５年12月31日）

通報処理／地区別	救急	誤報	電池切れ	テスト	相談	その他	計
常陸太田地区	40	260	22	623	13	1	959
金砂郷地区	10	82	26	181	2		301
水府地区	16	84	19	162			281
里美地区	2	34	7	111	1		155
計	68	460	74	1,077	16	1	1,696

気 象 状 況 月 別 表

（令和５年）

種別／月別	風向（最多）	平均風速 m／s	最高温度 ℃	最低温度 ℃	平均温度 ℃	平均湿度 %	降雨量 mm	積雪量 cm	天候（日数）			
									晴	曇	雨	雪
1	北北西	2.1	15.6	-7.3	3.5	63.3	12.0		25	5	1	
2	北北西	2.7	18.1	-4.6	5.2	58.9	27.0		20	6	2	
3	北	2.5	22.7	-0.5	11.0	70.6	68.5		17	11	3	
4	北	2.9	28.9	2.3	14.1	68.8	70.5		18	10	2	
5	北	2.5	34.4	6.8	17.6	73.7	90.5		14	13	4	
6	東南東	2.3	34.0	11.0	22.2	81.7	277.5		9	17	4	
7	北	2.2	39.2	20.1	27.3	79.8	115.5		22	8	1	
8	東南東	2.6	37.5	22.1	28.9	81.8	32.0		25	6		
9	東南東	2.2	35.7	16.2	26.1	83.5	231.5		15	12	3	
10	北	2.2	28.1	6.5	17.1	75.8	85.0		25	3	3	
11	北西	2.0	25.7	1.3	12.1	77.5	44.5		22	5	3	
12	北北西	1.9	20.9	-3.0	7.1	70.2	14.5		22	7	2	
		2.3	39.2	-7.3	16.0	73.8	1069.0		234	103	28	
		（平均）	（最高）	（最低）	（平均）	（平均）	（総雨量）	（総積雪量）	（合		計）	



総降雨量 1069.0mm

総積雪量 0.0 cm

気象警報・注意報等発令状況

（令和５年）

情報＼月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
警報	大雨特別													
	大雨						2			6				8
	洪水									2				2
	雷													
	暴風													
	大雪													
小計							2			8				10
注意報	大雨					1	8	4	1	8		1		23
	洪水						1	1		4		1		7
	強風	6	6	5	5	1	2			4	7	7	5	48
	雷	2	3	6	4	5	15	11	14	14	7	6	4	91
	濃霧	3	3	12	7	12		13	8	12	13	13	3	99
	乾燥	3	5	2	2								1	13
	霜			1	12	4					2	13		32
	大雪	2	1											3
	低温	17	5										3	25
	着雪													
	風雪	2												2
小計		35	23	26	30	23	26	29	23	42	29	41	16	343
通報及び情報	火災気象	28	46	20	24	8	4			12	17	21	10	190
	大雨					8	33	16	4	14	9	5		89
	洪水													
	雷			1	6	2	2	25	8	14	12	8		78
	強風						10							10
	突風			1	6	2		21	8	13	12	8		71
	竜巻				1	2	8	30	2	5		2		50
	暴風						2							2
	台風								11	13				24
	長雨													
	降ひょう			1	6			13	4	12	9	3		48
	記録的短時間大雨						1			1				2
	土砂災害									12				12
	浸水害													
	日照不足													
	高温													
	高波													
	低気圧						7							7
	スモッグ													
	黄砂				1	1								2
	大雪	4	5											9
	雪	5	2											7
	低温	5												5
	熱中症警戒アラート							17	10	2				29
小計		42	53	23	44	23	67	122	47	98	59	47	10	635
合計		77	76	49	74	46	95	151	70	148	88	88	26	988

防災・ドクターヘリコプターランデブーポイント

（令和６年４月１日現在）

番号	地区別	名　　称	土地の状況		防災ヘリ	ドクヘリ	備考
			長さ･幅(m)	表面			
1	常陸太田地区	太田中学校	90×90	土		○	
2		太田西山高等学校	103×125	土		○	
3		太田小学校	132×84.4	土		○	
4		太田第一高等学校	174×120	土		○	
5		太田第一高等学校　第２グラウンド	111×118	土・芝地		○	
6		新・西山荘カントリー倶楽部(10番ティーグランド)	40×20	芝地		○	
7		茨城ロイヤルカントリー倶楽部（コース管理事務所）	70×50	舗装		○	
8		日立高鈴ゴルフクラブ（２番ホール）	50×50	芝地		○	
9		白羽スポーツ広場	128×80	土・芝地	○	○	
10		機初小学校	125×65	土		○	
11		瑞竜中学校	50×70	土		○	
12		誉田小学校	59.5×89	土		○	
13		峰山小学校	64×96.7	土		○	
14		佐竹グラウンド	125×167	土		○	
15		峰山中学校	90×100	土		○	
16		旧幸久小学校	100×50	土		○	
17		栗原堰河川敷久慈川左岸	150×80	砂利・草地	○	○	
18		サングリーンピア太田ケアセンター	100×80	土		○	
19		旧西小沢小学校	110×60	土		○	
20		世矢小学校	100×75	土		○	
21		世矢中学校	50×50	土		○	
22		岡田工業団地内　えひめ飲料東側空地	60×80	芝地		○	
23	金砂郷地区	北消防署金砂出張所南側空地	38×35	土・芝地		○	
24		かなさ笑楽校	107×84	土		○	
25		金砂郷カントリークラブ（練習場）	198×66	芝地		○	
26		有限会社廣木精機製作所　金砂郷工場	100×80	土	○	○	
27		スパ&ゴルフリゾート久慈（練習場）	100×50	芝地		○	
28		金砂郷地区保健センター（西側駐車場）	65×40	土		○	
29		交流センターふじ（東側広場）	30×30	芝地		○	
30		旧金砂郷小学校	75×55	土		○	
31		旧郡戸小学校	70×60	土		○	
32		金砂郷小学校	84.9×140	土		○	

番号	地区別	名　　称	土地の状況		防災ヘリ	ドクヘリ	備考
			長さ・幅(m)	表面			
33	金砂郷地区	大里ふれあいギャラリー駐車場	60×35	舗装	○	○	
34		金砂郷中学校	45×100	土		○	
35		宮の郷工業団地内　東側空地	100×80	芝地		○	
36	水府地区	高倉交流センター	80×30	土・芝地		○	休止
37		水府海洋センター駐車場	31×35	舗装	○	○	
38		旧水府小学校	93.8×105	土		○	
39		水府総合センター（西側駐車場）	40×40	舗装		○	
40		水府小中学校	90×100	土	○	○	
41		すいふこども園	40×50	土		○	
42		松平運動広場	100×80	土		○	
43	里美地区	旧小里小学校	65×35	土		○	
44		里美ふれあい館駐車場	50×60	舗装	○	○	
45		里美小中学校	85×100	土・芝地	○	○	
46		旧賀美小学校	47.3×87	土		○	

火災・救急・救助統計

令 和 5 年 中 の 主 な 火 災

次のいずれかに該当するもの

1．死者の生じた火災

2．焼損面積 50 ㎡以上、かつ、損害額 100 万円以上の建物火災

3．損害額 200 万円以上の火災

月日	出火時分	鎮火時分	覚知	火災種別	用途	焼損棟数				死者	傷者	損害額（千円）	焼損面積（㎡）
						全焼	半焼	部分焼	ぼや				
1.12	18：50	21:31	119	建物	住宅	1						2,366	129.18
2.3	15:20	16:21	119	建物	共同住宅			1				3,645	1.37
2.22	19：20	23:00	119	建物	住宅	1					1	2,852	134.15
5.8	12：00	14:45	119	建物	住宅		1			1		2,293	63.75
5.18	8：48	10:20	119	建物	軽自動車	4		1		1		10,126	121.98
10.6	1：15	5:00	119	建物	住居・店舗・作業所	2		2	2	2		32,976	258.73
10.6	不明	15:13	119	建物	倉庫			1				3,917	木質チップ 829.50㎥ 内壁 4.48㎡
11.14	6：45	8:06	119	建物	住宅	1				1		1,837	55.48

火　　災　　発

月別	件数	地区別				火災種別				焼損棟数					焼損	面積
		常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区	建物	林野	車両	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物 ㎡	林野 a
1	3	2	1			1	1		1	1				1	129.18	4.60
2	3	2	1			2			1	1		1		2	135.52	
3	6	3	3				2		4							3.20
4	1			1			1									5.00
5	4	3	1			2		1	1	4	1	1		6	185.73	
6																
7	3	3				2			1				2	2		
8																
9																
10	4	3	1			2			2	2		3	2	7	263.21	
11	1			1		1				1				1	55.48	
12	3	2			1	1	1		1				1	1		0.70
計	28	18	7	2	1	11	5	1	11	9	1	5	5	20	769.12	13.50

地区別		火災種別				焼損棟数					焼損	面積
		建物	林野	車両	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物 ㎡	林野 a
	常陸太田地区	7	3	1	7	7		4	5	16	516.23	7.80
	金砂郷地区	3			4	1	1	1		3	197.41	
	水府地区	1	1			1				1	55.48	5.00
	里美地区		1									0.70
計		11	5	1	11	9	1	5	5	20	769.12	13.50

生　　状　　況

（令和５年）

死傷者数		り災世帯数				り災者数	損害見積額（千円）				
死者	傷者	全損	半損	小損	計		建物	林野	車両	その他	計
		1			1	1	2,366				2,366
	1	1		1	2	2	6,497				6,497
										70	70
								101			101
2		4	1	1	6	6	12,419		532		12,951
				2	2	2	9				9
2		2		5	7	8	36,893			13	36,906
1		1			1	1	1,842				1,842
				1	1	3	9				9
5	1	9	1	10	20	23	60,035	101	532	83	60,751

3	1	7		9	16	19	49,617		532	83	50,232
1		1	1	1	3	3	8,576				8,576
1		1			1	1	1,842	101			1,943
5	1	9	1	10	20	23	60,035	101	532	83	60,751

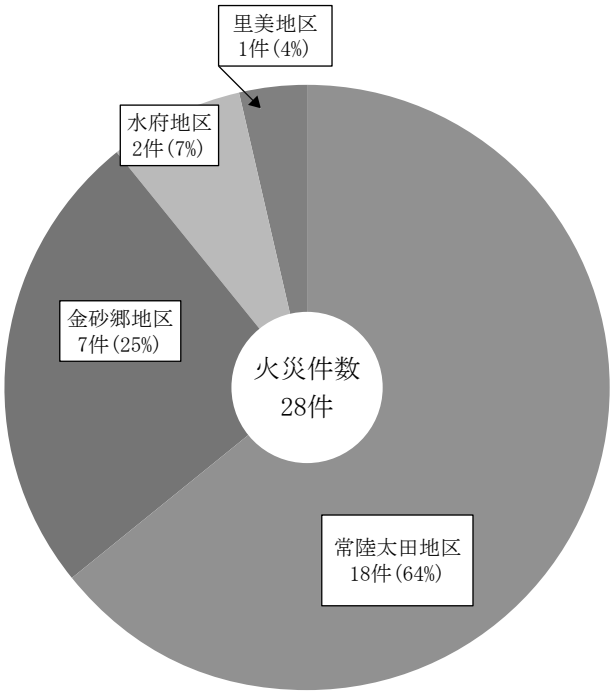
火　災　損　害　額　状　況

（令和５年）

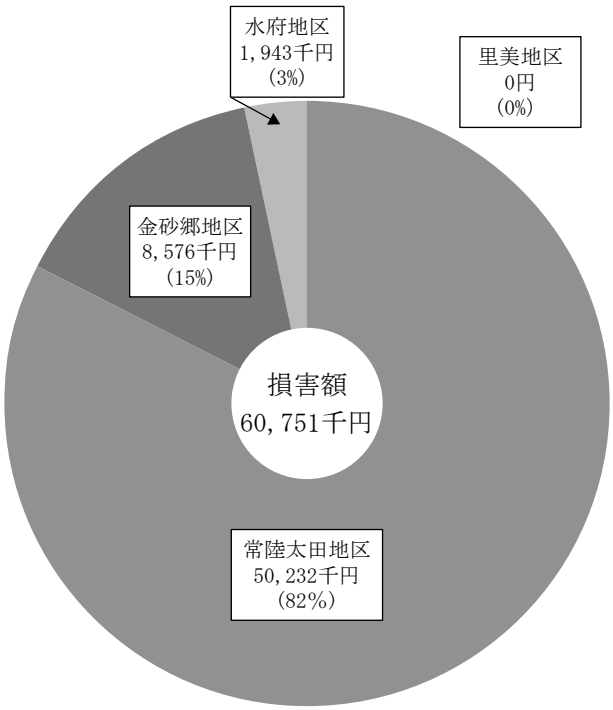
項目＼地区別	管内	常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区
管内・地区別損害額	60,751	50,232	8,576	1,943	
１件当たりの損害額	2,170	2,791	1,225	972	
建物火災１件当たりの損害額	5,458	7,088	2,859	1,842	
林野火災１件当たりの損害額	101			101	
車両火災１件当たりの損害額	532	532			
その他の火災１件当たりの損害額	8	83			

※単位：千円

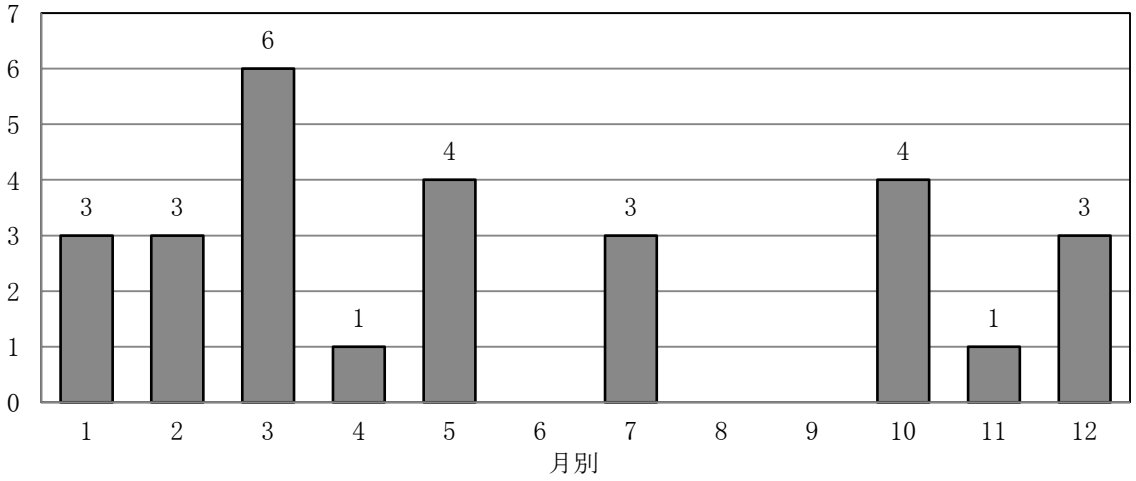
地区別火災件数



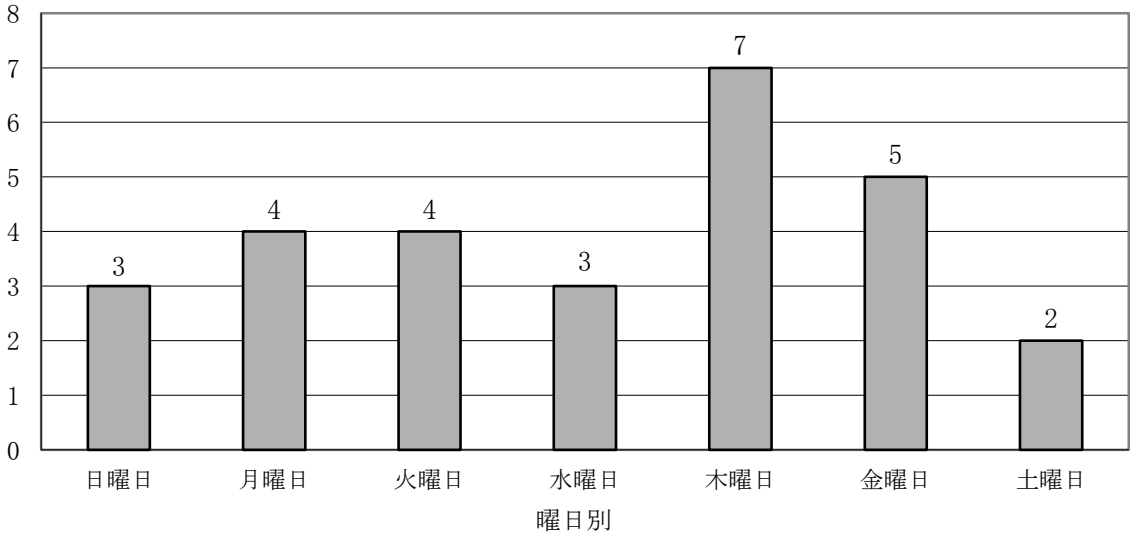
地区別損害額



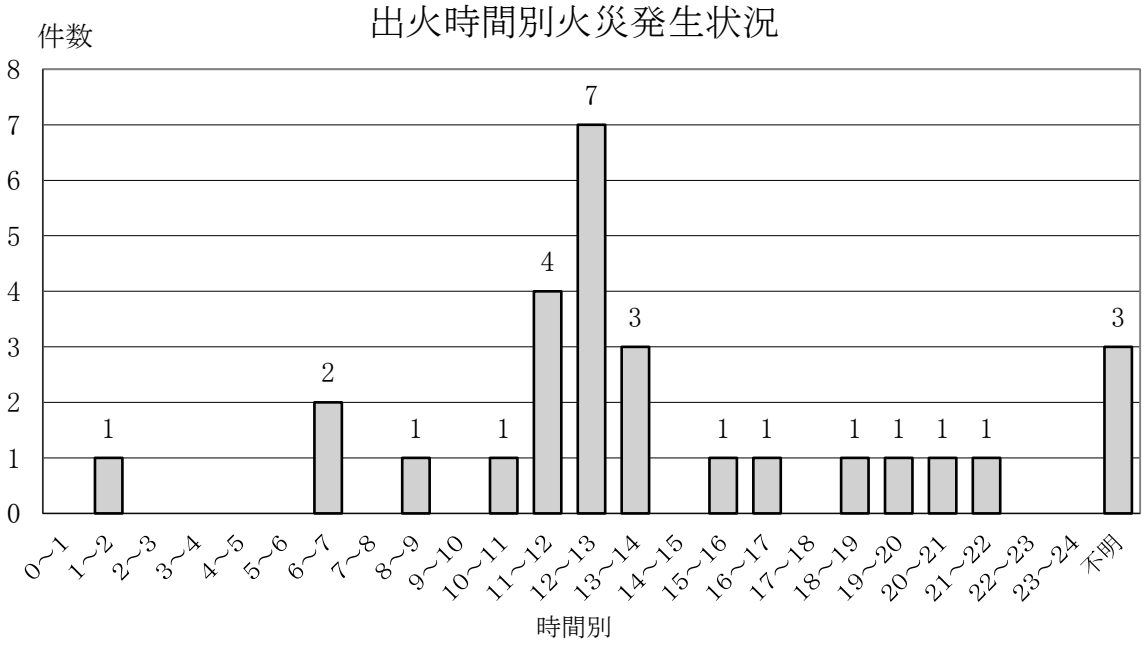
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



出火時間別火災発生状況



過去５年間の出火原因別件数

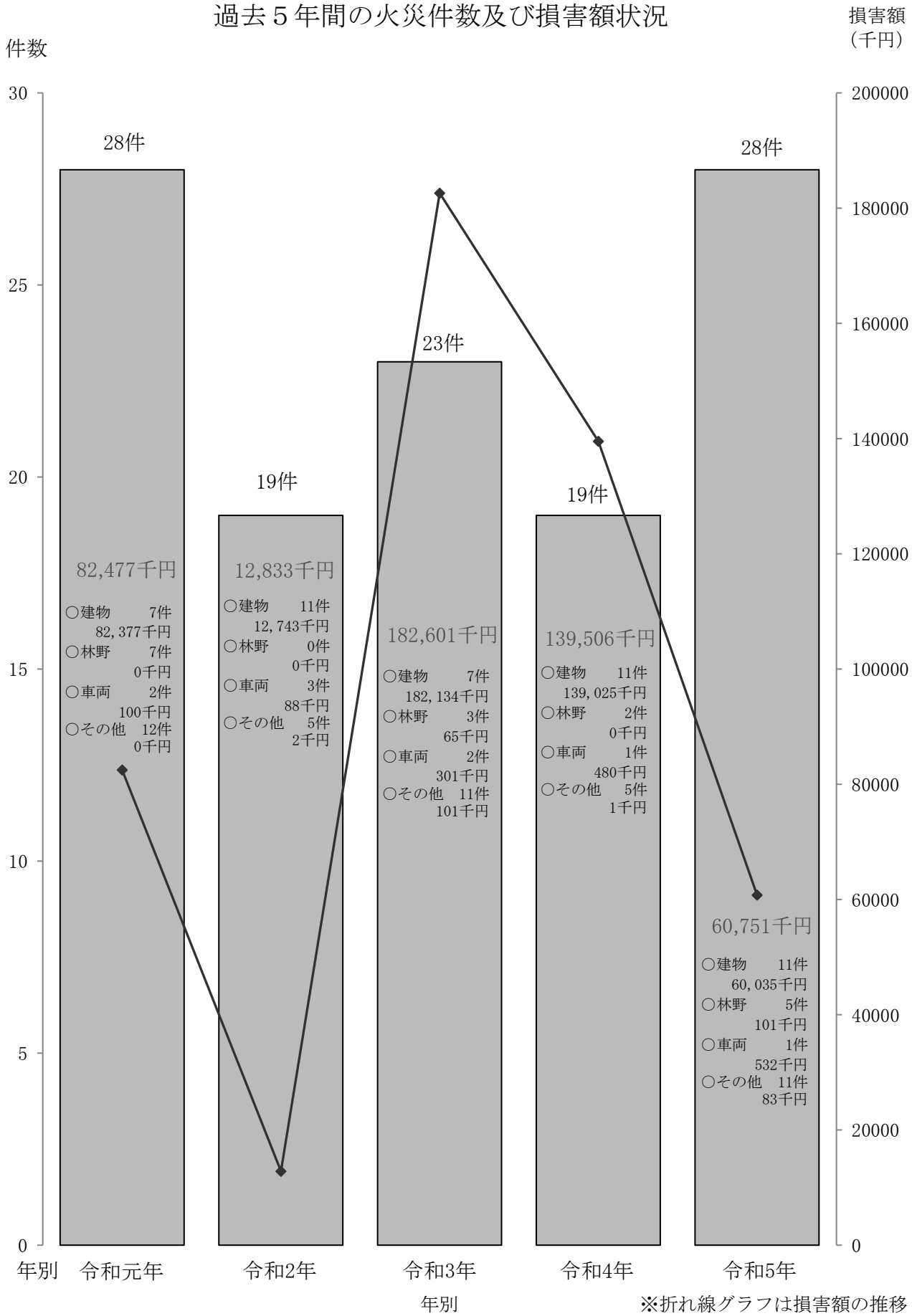
原因別＼年別	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	計
たき火等	15	7	13	7	11	53
車両の排気管	1	1		1		3
電気関係	1			1	2	4
摩擦熱		1				1
かまど	1					1
天ぷらなべ				1		1
ストーブ					1	1
たばこ						
線香						
炊飯器		1				1
雷		1			1	2
ガステーブル		1				1
グラインダーの火花		1				1
バーナー		1				1
ライター		1				1
エンジンの輻射熱	1					1
放火				1		1
ろうそく						
燃料漏れ						
ガス溶断器の火花						
分電盤			1			1
薪風呂釜の焚き木の不始末					1	1
追突事故による出火					1	1
電線と樹木の接触				1		1
自然発火					2	2
放火の疑い			1			1
自損行為					1	1
トラッキング現象			1			1
不明	9	4	7	7	8	35
計	28	19	23	19	28	117

月別・原因別火災発生件数

（令和５年）

原因別＼月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
たき火等	2	1	3	1			1			2		1	11
電気関係							1					1	2
ストーブ		1											1
雷							1						1
薪風呂釜の焚き木の不始末	1												1
追突事故による出火					1								1
自然発火					1					1			2
自損行為					1								1
不明		1	3		1					1	1	1	8
計	3	3	6	1	4		3			4	1	3	28

過去５年間の火災件数及び損害額状況



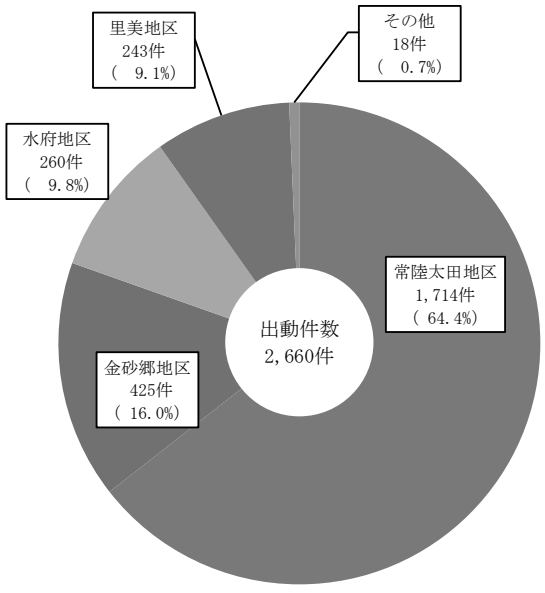
※折れ線グラフは損害額の推移

地区別月別署所別事故種別救急出動件数

（令和５年）

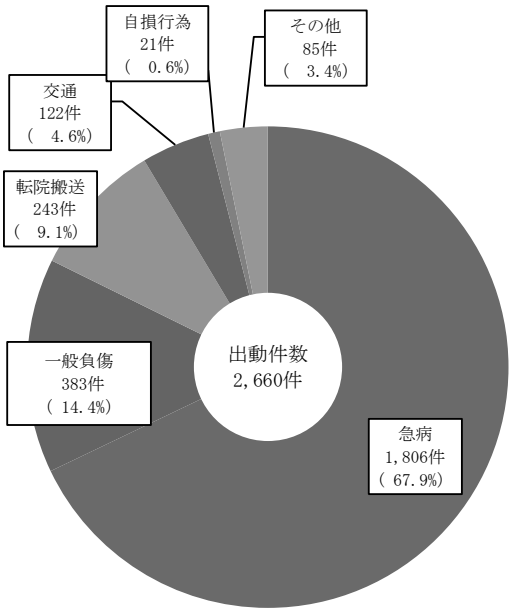
月別	出動件数	搬送件数	不搬送件数	搬送人員	地区別					署・所別出動件数					事故種別												
					常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区	その他	南署管内	北署管内	北署管内			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他
												北消防署	金砂出張所	里美出張所													
1	267	216	51	218	173	52	20	20	2	186	81	35	27	19				10			46		1	191	17		2
2	207	165	42	165	130	27	23	25	2	140	67	27	15	25	1			11	1		22		2	149	18		3
3	203	168	35	168	120	40	25	13	5	144	59	29	16	14				9	2	1	33		2	130	19		7
4	184	155	29	155	121	32	14	16	1	137	47	19	12	16				7	2		26		3	123	20		3
5	203	170	33	172	131	39	20	13		153	50	25	12	13	2			17	1	1	35		2	116	23		6
6	202	178	24	179	129	27	28	18		136	66	32	16	18				11	1		24		1	140	20		5
7	247	216	31	217	164	34	19	29	1	177	70	27	13	30				10	1	2	22	1	3	178	28		2
8	282	248	34	249	181	53	31	16	1	208	74	31	27	16				11	1	2	40		3	205	17		3
9	217	180	37	181	131	33	23	27	3	148	69	26	17	26			1	1	2	1	32		2	156	16		6
10	218	185	33	187	137	32	24	22	3	155	63	26	14	23				13	1	1	32			142	22		7
11	199	164	35	166	128	25	21	25		139	60	23	12	25				11	4		45		1	119	17		2
12	231	194	37	194	169	31	12	19		176	55	23	15	17				11	1	1	26	3	1	157	26		5
計	2,660	2,239	421	2,251	1,714	425	260	243	18	1,899	761	323	196	242	3		1	122	17	9	383	4	21	1,806	243		51
R4	2,432	2,074	358	2,094	1,573	415	227	197	20	1,722	710	315	196	199	10			123	21	7	337	4	16	1,642	215	1	56
増減	228	165	63	157	141	10	33	46	△ 2	177	51	8		43	△ 7		1	△ 1	△ 4	2	46		5	164	28	△ 1	△ 5

地区別出動件数



※その他内訳（那珂市12件・常陸大宮市4件・日立市1件・高萩市1件）

事故種別出動件数



※その他内訳（労働災害17件・運動競技9件・加害4件・火災3件・水難1件・その他51件）

救急隊の行った応急処置状況

（令和５年）

事故種別 / 処置項目・人数	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
人数	1,498 人	117 人	348 人	288 人	2,251 人
止血	32	4	42	2	80
固定	21	154	68	24	267
人工呼吸	18		1		19
心肺蘇生	56		3	6	65
酸素吸入	335	14	16	81	446
気道確保	118	1	8	9	136
体温管理	35	2	6	2	45
被覆	20	42	162	24	248
在宅療法	49		5	5	59
除細動	7				7
静脈路確保	33	1	2	2	38
薬剤投与	21		1	2	24
血圧測定	1,426	115	340	283	2,164
聴診器による心音・呼吸音聴取	454	53	46	62	615
血中酸素飽和度測定	1,453	117	345	281	2,196
心電図	1,370	69	267	257	1,963
血糖測定	27				27
ブドウ糖投与	1				1
その他の処置	1,444	116	341	278	2,179
計	6,920	688	1,653	1,318	10,579

特定行為実施件数

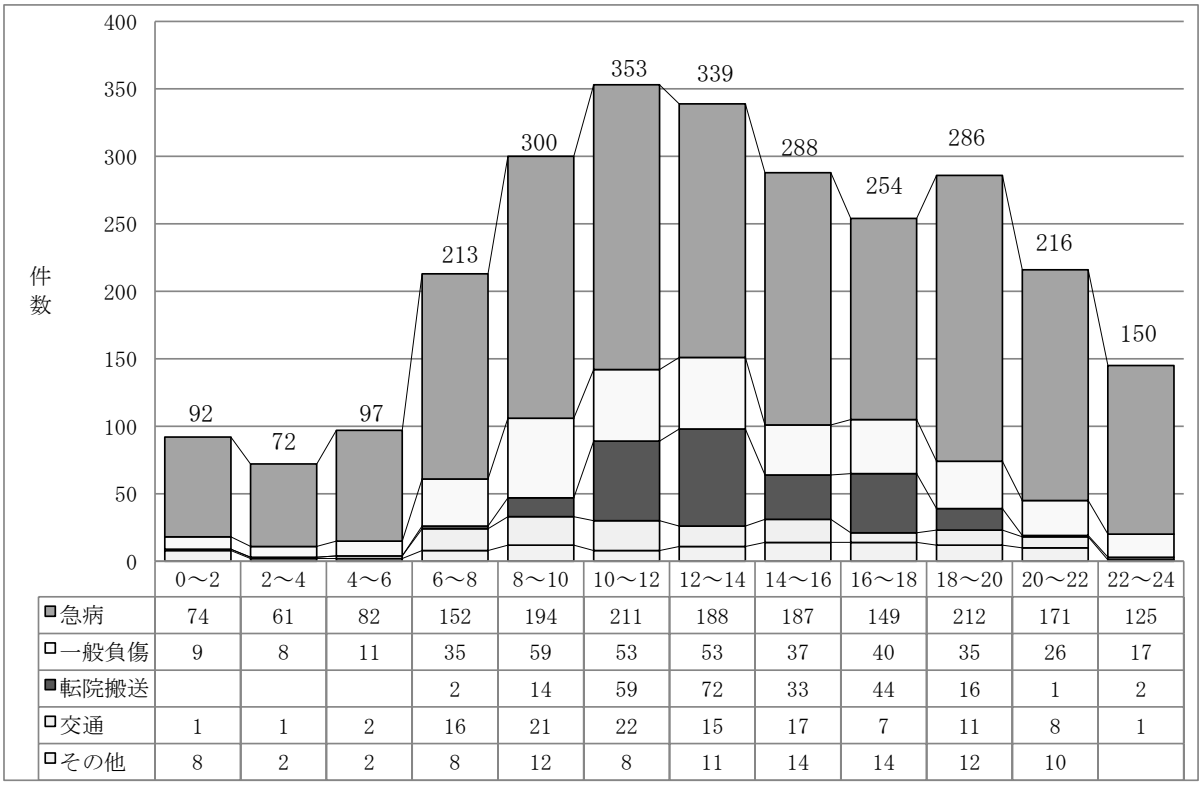
（令和５年）

実施別 / 月別	対象人員	気道確保		静脈路確保		薬剤投与	ブドウ糖投与	除細動
		ラリンゲアルマスク等	気管内挿管	ショック低血糖	心肺機能停止			
1	7	7		1	6	3		2
2	3	3			3			1
3	2	4		1	2			1
4	5	5		2	5	1		1
5	3	3			4	2		
6	3	3		2	3	1		
7	4	1		1	4	1		
8	6	5		1	5	5		1
9	3	3	1		5	3		1
10	1	2			2	1		
11	3	2			2	1		
12	5	3	1	2	4	3	1	
計	45	41	2	11	45	21	1	7

時間別事故種別出動件数

（令和５年）

事故種別／時間帯	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他
０～２	92				1	1		9	1	2	74			4
２～４	72				1			8			61			2
４～６	97				2			11		1	82			1
６～８	213			1	16	1		35			152	2		6
８～10	300				21	4	1	59		2	194	14		5
10～12	353				22	2	1	53	1		211	59		4
12～14	339	2			15	2	1	53		3	188	72		3
14～16	288				17	4	3	37		3	187	33		4
16～18	254				7		1	40		4	149	44		9
18～20	286				11	1	2	35		1	212	16		8
20～22	216	1			8	2		26	2	2	171	1		3
22～24	150				1			17		3	125	2		2
計	2,660	3		1	122	17	9	383	4	21	1,806	243		51

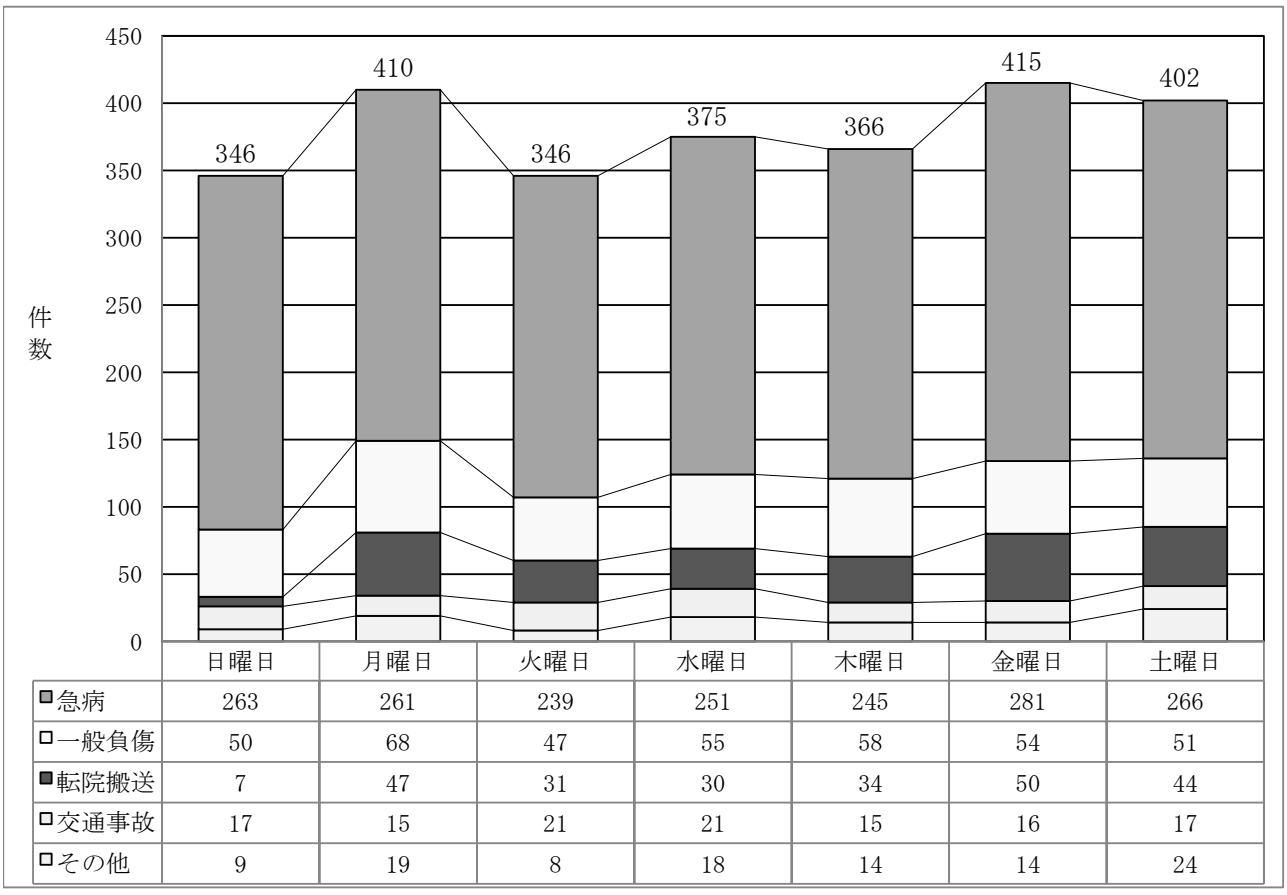


	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
■急病	74	61	82	152	194	211	188	187	149	212	171	125
□一般負傷	9	8	11	35	59	53	53	37	40	35	26	17
■転院搬送				2	14	59	72	33	44	16	1	2
□交通	1	1	2	16	21	22	15	17	7	11	8	1
□その他	8	2	2	8	12	8	11	14	14	12	10	

曜日別事故種別出動件数

（令和５年）

事故種別／曜日別	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他
日曜日	346				17	2	1	50	1		263	7		5
月曜日	410	2			15	4	1	68		3	261	47		9
火曜日	346				21	2	1	47		2	239	31		3
水曜日	375	1			21	1	1	55	1	3	251	30		11
木曜日	366				15	4		58	1	5	245	34		4
金曜日	415				16	3	1	54		4	281	50		6
土曜日	402			1	17	1	4	51	1	4	266	44		13
計	2,660	3		1	122	17	9	383	4	21	1,806	243		51



	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
■急病	263	261	239	251	245	281	266
□一般負傷	50	68	47	55	58	54	51
■転院搬送	7	47	31	30	34	50	44
□交通事故	17	15	21	21	15	16	17
□その他	9	19	8	18	14	14	24

事故種別年齢別搬送人員

（令和５年）

事故種別／年齢区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児												
乳幼児				2			13			76	3	94
少年				11		6	11		1	40		69
成人				61	11	3	44	2	9	319	28	477
高齢者	2			43	7		280	1	3	1,063	212	1,611
合計	2			117	18	9	348	3	13	1,498	243	2,251

（不搬送者を除く）

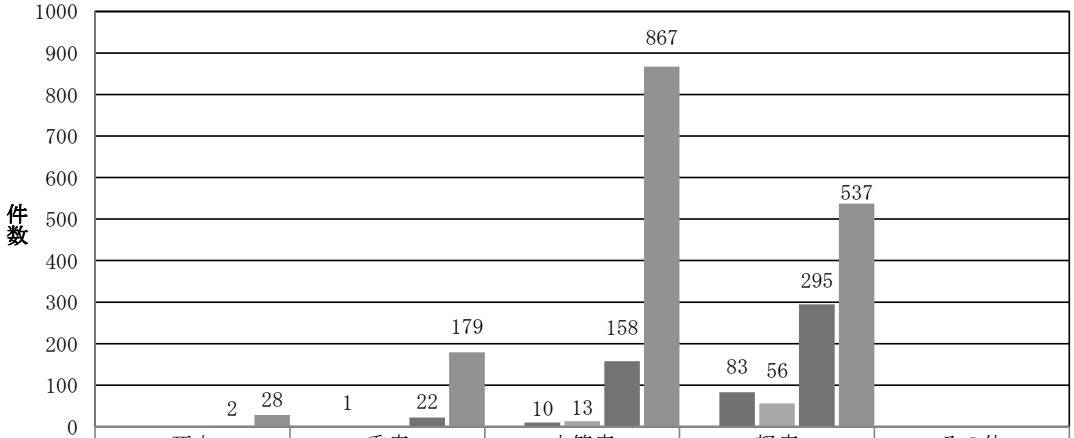
年齢別傷病程度別搬送人員

（令和５年）

年齢区分／傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
死亡				2	28	30
重症		1		22	179	202
中等症		10	13	158	867	1,048
軽症		83	56	295	537	971
その他						
計		94	69	477	1,611	2,251

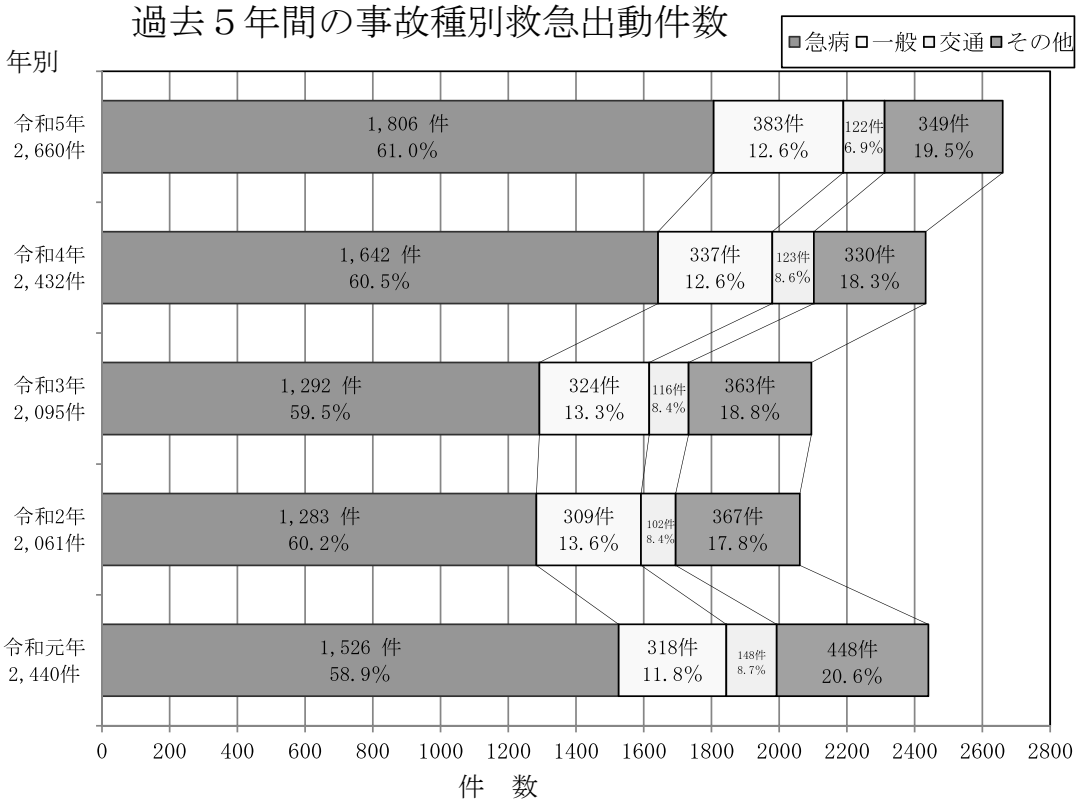
※　年齢区分　①新生児：生後28日未満
②乳幼児：生後28日以上満７歳未満
③少　年：満７歳以上満18歳未満
④成　人：満18歳以上満65歳未満
⑤高齢者：満65歳以上

（不搬送者を除く）

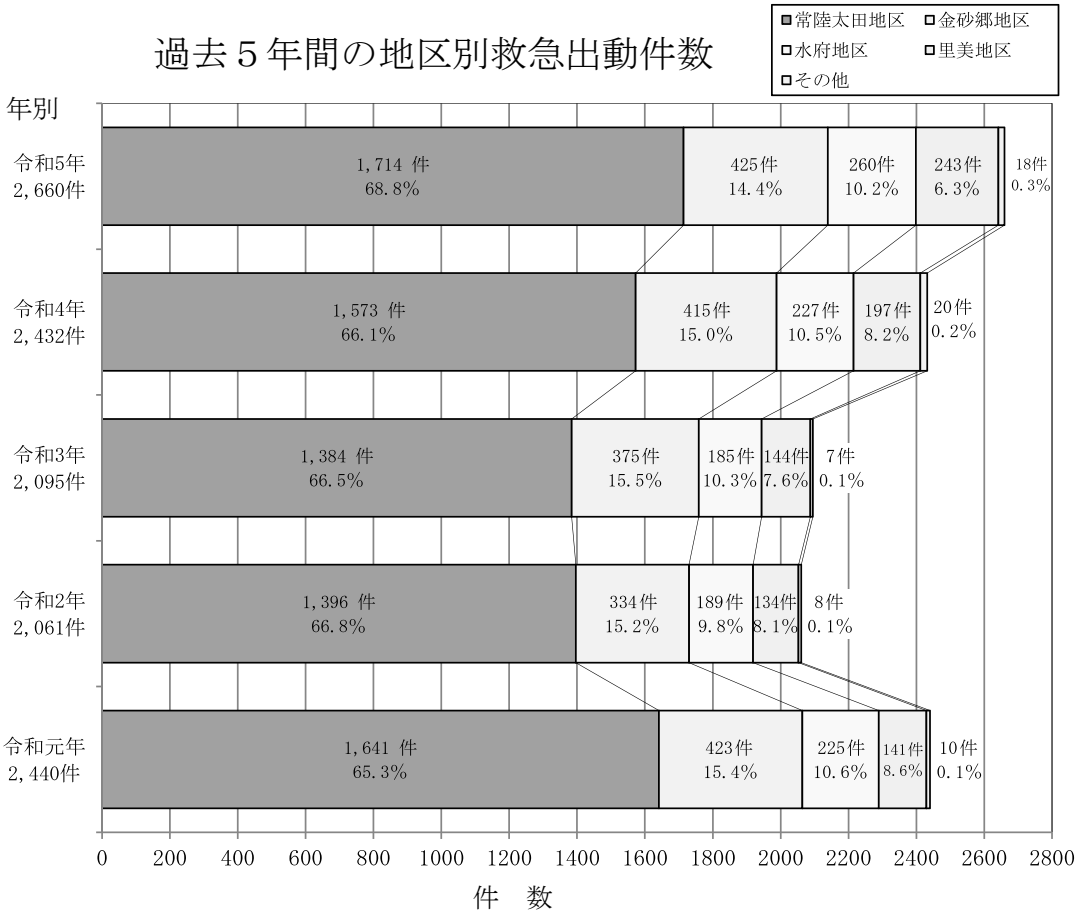


	死亡	重症	中等症	軽症	その他
■新生児					
■乳幼児		1	10	83	
■少年			13	56	
■成人	2	22	158	295	
■高齢者	28	179	867	537	

過去５年間の事故種別救急出動件数



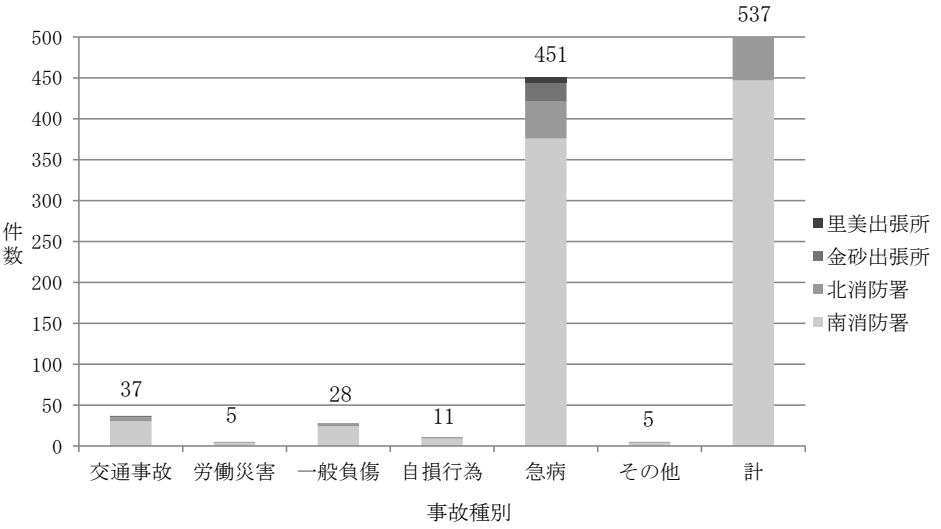
過去５年間の地区別救急出動件数



署所別事故種別ＰＡ出場件数

（令和５年）

	交通事故	労働災害	一般負傷	自損行為	急病	その他	計
南消防署	30	4	24	9	376	4	447
北消防署	5	1	4	2	45	1	58
金砂出張所	2				23		25
里美出張所					7		7
計	37	5	28	11	451	5	537

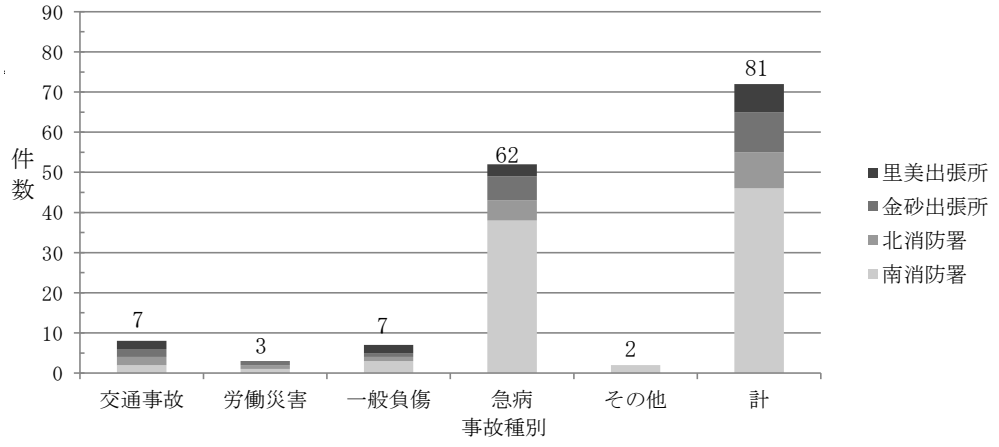


署所別ドクターヘリ及び防災ヘリ要請件数

（令和５年）

	交通事故	労働災害	急病	一般負傷	その他	計
南消防署	5	3	4	38	2	52
北消防署				6		6
金砂出張所			2	11		13
里美出張所	2		1	7		10
計	7	3	7	62	2	81

※ 内未出動17件（理由：重複8件，天候不良5件，日没3件，その他1件）



搬送先市町村別搬送人員

（令和５年）

順位	市町村名	平日	休日	祝日	計	割合
1	常陸太田市	547	69	5	621	27.6%
2	日　立　市	466	93	4	563	25.0%
3	水　戸　市	382	64	7	453	20.1%
4	常陸大宮市	166	43	2	211	9.4%
5	那　珂　市	106	12		118	5.2%
6	ひたちなか市	86	14	1	101	4.5%
7	東　海　村	73	15	1	89	4.0%
8	茨　城　町	25	10	1	36	1.6%
9	大　子　町	24	4		28	1.2%
10	笠　間　市	10	3	1	14	0.6%
11	そ　の　他	12	5		17	0.8%
計		1,897	332	22	2,251	100.0%

※平日その他12件（内訳　高萩市６人，千葉県１人，福島県５人）
※休日その他５人（内訳　高萩市５人）

救急講習会実施状況

（令和５年）

地区別	種別／回数	上級救命講習会	普通救命講習会	救命入門コース	救命体験コース	計
常陸太田地区	実施回数		21	23	7	51
	受講者数		251	454	124	829
金砂郷地区	実施回数		1	3		4
	受講者数		17	38		55
水府地区	実施回数		1	2	2	5
	受講者数		21	24	21	66
里美地区	実施回数		1	1	5	7
	受講者数		20	16	95	131
計	実施回数		24	29	14	67
	受講者数		309	532	240	1,081

※普通救命講習会はⅠ～Ⅲ及び普及員再講習、救命入門はⅠ～Ⅱ、救命体験は小学生体験を合算した件数

地区別救助出動件数

（令和５年）

事故種別＼地区別	常陸太田地区	金砂郷地区	水府地区	里美地区	管外	計
火災・自然災害	1 (4)					1 (2)
交通事故	7 (5)	3 (2)	1			11 (7)
機械による事故						
水難事故	2 (1)		1 (1)			3 (2)
建物等による事故	5 (4)	2 (2)	1			8 (6)
その他の事故	2		3 (3)	2		7 (3)
計	17 (12)	5 (4)	6 (4)	2		30 (20)

（ ）内は救助者数

過去５年間の救助出動件数

事故種別＼地区別・年別	地区別	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年
火災・自然災害	常陸太田地区	1 (1)			2 (4)	1 (2)
	金砂郷地区					
	水府地区	1 (1)				
	里美地区	1				
	管外					
	小計	3 (2)			2 (4)	1 (2)
交通事故	常陸太田地区	7 (4)	8 (6)	8 (7)	6 (6)	7 (5)
	金砂郷地区	5 (1)		2 (1)	1 (1)	3 (2)
	水府地区	5 (2)		1 (1)		1
	里美地区		1 (1)	1	2 (1)	
	管外				1	
	小計	17 (7)	9 (7)	12 (9)	10 (8)	11 (7)
機械による事故	常陸太田地区	3 (1)	1			
	金砂郷地区					
	水府地区					
	里美地区					
	管外					
	小計	3 (1)	1			
水難事故	常陸太田地区	1 (1)		2		2 (1)
	金砂郷地区	1 (1)			1 (1)	
	水府地区			2 (2)		1 (1)
	里美地区					
	管外					
	小計	2 (2)		4 (2)	1 (1)	3 (2)
建物等による事故	常陸太田地区	4 (3)	2 (2)	2 (2)		5 (4)
	金砂郷地区	1				2 (2)
	水府地区					1
	里美地区	1	1			
	管外					
	小計	6 (3)	3 (2)	2 (2)		8 (6)
その他の事故	常陸太田地区	6 (2)	2 (1)	7 (4)	10 (8)	2
	金砂郷地区	2 (2)	1 (1)		1 (1)	
	水府地区	1 (1)	5 (1)	1 (1)	1	3 (3)
	里美地区		2	1 (1)		2
	管外		1 (1)		2	
	小計	9 (5)	11 (4)	9 (6)	14 (9)	7 (3)
合計		40 (20)	24 (13)	27 (19)	27 (22)	30 (20)

（ ）内は救助者数

消防団・防火団体関係

常陸太田市消防団の沿革

常陸太田市の消防団は、昭和 29 年７月 15 日太田町、誉田村、機初村、佐竹村、西小沢村、幸久村、佐都村の１町６ヵ村の合併で常陸太田市が誕生すると同時に消防団が統合され常陸太田市消防団として発足、さらに昭和 30 年３月１日世矢村、河内村が合併し 46 個分団、条例定数 1,870 名となる。

昭和 33 年組織の合理化を図るため第１次消防団機構改革を実施し、支団制を廃止するとともに 25 個分団、条例定数 514 名に改編、続いて昭和 40 年７月１日第２次消防団機構改革を実施、22 個分団、条例定数 394 名に改編、さらに昭和 48 年４月１日第３次消防団機構改革を実施、９個分団、条例定数 298 名、消防ポンプ自動車９台、小型動力ポンプ付積載車９台となる。

平成 16 年 12 月１日常陸太田市、金砂郷町、水府村、里美村の１市１町２村の合併により、各消防団を統合し４支団 45 個分団、条例定数 987 名となる。

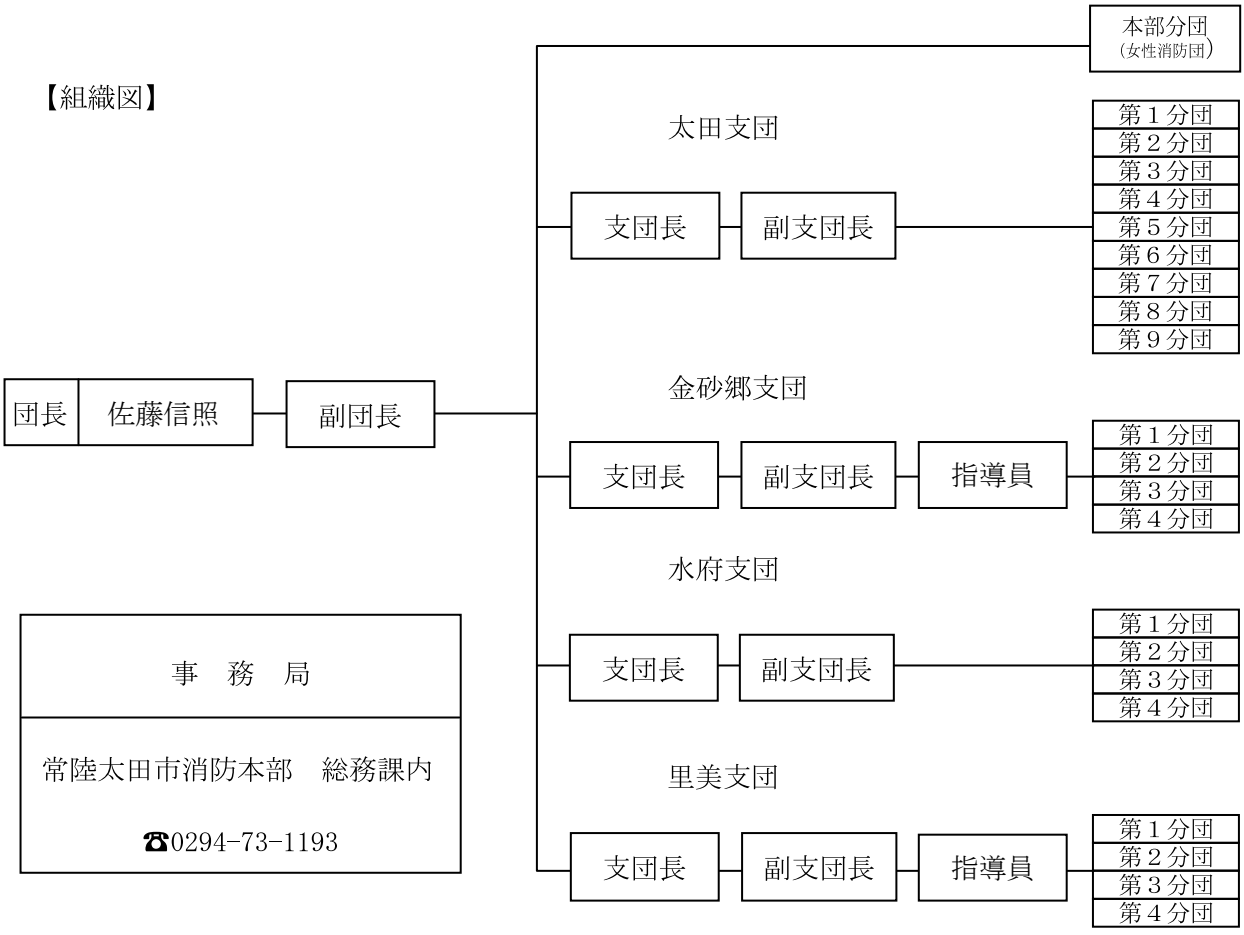
平成 18 年３月 31 日水府支団第９分団及び第 10 分団を廃止、同年４月１日本部分団（女性消防団）を設置し、さらに、平成 19 年３月 31 日里美支団第９分団を廃止して４支団 43 個分団となる。

平成 21 年４月１日水府支団及び里美支団を８分団体制から４分団体制に再編し、４支団 35 個分団となる。

平成 26 年３月 31 日金砂郷支団第 17 分団を廃止、同年４月１日金砂郷支団 16 分団体制から４分団体制に再編し、４支団 22 個分団となる。

令和２年４月１日部の統合等による消防団組織改編を実施し、消防団車両 40 台、条例定数 920 名となる。

【組織図】



消 防 団 員 数

（令和６年４月１日現在）

区分＼階級別	定数	団長	副団長	支団長	副支団長	指導員	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本　　部	920	1	3									4
本部分団							1	1	1	2	2	7
太田支団				1	1		9	9	15	45	209	289
金砂郷支団				1	1	4	4	4	8	24	142	188
水府支団				1	1		4	4	8	16	108	142
里美支団				1	1	1	4	4	8	24	121	164
計		1	3	4	4	5	22	22	40	111	582	794

※本部分団は女性消防団

年齢別消防団員数

（令和６年４月１日現在）

年齢別＼階級別	団長	副団長	支団長	副支団長	指導員	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計	平均年齢
18歳～20歳未満												
20歳～25歳未満										4	4	
25歳～30歳未満										8	8	
30歳～35歳未満									1	30	31	
35歳～40歳未満									7	58	65	
40歳～45歳未満				1		1		4	22	81	108	50.5
45歳～50歳未満						3	7	11	29	90	141	
50歳～55歳未満					1	2	6	11	27	101	148	
55歳～60歳未満			1		3	7	7	8	16	98	140	
60歳以上	1	3	3	3	1	9	2	6	9	112	149	
計	1	3	4	4	5	22	22	40	111	582	794	

消防団車両等保有台数

（令和６年４月１日現在）

支団別＼車両別	現有台数				計
	消防ポンプ自動車	全自動小型動力ポンプ積載車	小型動力ポンプ積載車	小型動力ポンプ搭載多機能車	
太田支団	9	1	4	1	15
金砂郷支団	4		4		8
水府支団	3		6		9
里美支団	3		5		8
計	19	1	19	1	40

消防団車両の現勢

支団別	分団名		種　類　・　型　式	購入年月日	備　　考
太田支団	第　1　分　団		消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成29年 9 月10日	
	第２分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成28年 9 月24日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成24年11月26日	
	第３分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成21年11月25日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	令和 元年 9 月 8 日	
	第４分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成28年 9 月24日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成24年11月26日	
	第５分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成21年11月25日	
		第２部	全自動小型動力ポンプ積載車	平成 7 年 3 月14日	
	第６分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成22年11月24日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成30年11月 4 日	
	第　7　分　団		消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成22年11月24日	
	第８分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成22年11月24日	
		第２部	小型動力ポンプ搭載多機能車	平成29年11月12日	無償貸付車両
	第　9　分　団		消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成22年11月24日	
金砂郷支団	第１分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	令和 3 年 3 月19日	
		第２部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成24年 3 月 6 日	
	第２分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	令和 5 年12月12日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成14年 3 月22日	
	第３分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成29年 9 月10日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成15年 3 月 7 日	
	第４分団	第１部	小型動力ポンプ積載車	平成13年 3 月26日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成15年 3 月 7 日	
水府支団	第１分団	第１部	小型動力ポンプ積載車	平成13年 3 月26日	
		第２部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成14年 3 月18日	
	第２分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成24年10月25日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成15年 3 月 7 日	
	第３分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成 7 年10月12日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成14年 3 月22日	
	第４分団	第１部	小型動力ポンプ積載車	平成14年 3 月22日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成14年 3 月22日	
			小型動力ポンプ積載車	平成16年10月26日	機能別
里美支団	第１分団	第１部	小型動力ポンプ積載車	令和 元年 9 月 8 日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成15年 3 月 7 日	
	第２分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成24年10月25日	
		第２部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成10年10月27日	
	第３分団	第１部	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型	平成23年 2 月25日	
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成28年12月 3 日	
	第４分団	第１部	小型動力ポンプ積載車	平成22年 2 月15日	無償貸付車両
		第２部	小型動力ポンプ積載車	平成30年11月 4 日	

消防団担当地域区分

支団別	分団名		所　在　地	担　当　区　域
太田支団	第　1　分　団		木崎二町1,949番地の66	宮本町、内堀町、中城町、栄町、塙町、金井町、東一町、東二町、東三町、木崎一町、木崎二町、山下町、西一町、西二町、西三町、寿町
	第２分団	第１部	馬場町516番地の1	馬場町、瑞竜町、新宿町、増井町
		第２部	上大門町941番地の2	下大門町、上大門町
	第３分団	第１部	里野宮町1,053番地の1	里野宮町、茅根町、白羽町
		第２部	春友町178番地の1	常福地町、春友町
	第４分団	第１部	町屋町1,289番地	町屋町、西河内下町
		第２部	西河内上町1,434番地	西河内中町、西河内上町
	第５分団	第１部	西宮町1,226番地の2	幡町、三才町、西宮町、田渡町
		第２部	高貫町1,445番地の1	高貫町、長谷町
	第６分団	第１部	亀作町545番地の1	小目町、大森町
		第２部	真弓町593番地	亀作町、真弓町
	第　7　分　団		内田町3,006番地の2	岡田町、小沢町、内田町、堅磐町、落合町、上土木内町、沢目町
	第８分団	第１部	上河合町1,321番地の3	上河合町、下河合町、粟原町
		第２部	島町2,237番地の1	島町、藤田町
	第　9　分　団		稲木町888番地の1	磯部町、谷河原町、稲木町、天神林町
金砂郷支団	第１分団	第１部	久米町1,593番地の3	久米町、大平町、芦間町、玉造町
		第２部	大里町2,552番地の1	薬谷町、大里町
	第２分団	第１部	花房町175番地の2	花房町、新地町、松栄町
		第２部	小島町1,393番地の1付近	中野町、小島町
	第３分団	第１部	高柿町574番地の3	高柿町、岩手町、千寿町、大方町、竹合町
		第２部	箕町248番地の2	箕町、下利員町、中利員町、宮の郷町
	第４分団	第１部	上利員町1,143番地の1	上利員町、下宮河内町
		第２部	赤土町409番地の1	赤土町、上宮河内町
水府支団	第１分団	第１部	東連地町1,829番地の3	東連地町、和田町
		第２部	松平町192番地の3	松平町、棚谷町、国安町
	第２分団	第１部	町田町348番地	和久町、町田町、西染町
		第２部	中染町8番地の1	中染町、東染町、河内西町
	第３分団	第１部	天下野町4,954番地	天下野町１区、２区、３区
		第２部	天下野町3,167番地の2	天下野町４区、５区、６区
	第４分団	第１部	下高倉町1,187番地	下高倉町
		第２部	下高倉町1番地	上高倉町
			上高倉町2,760番地の2	
里美支団	第１分団	第１部	上深荻町215番地の1	上深荻町、大菅町
		第２部	小菅町252番地の2	小菅町
	第２分団	第１部	折橋町786番地の1	折橋町
		第２部	大中町1,606番地の4	大中町
	第３分団	第１部	小中町125番地	小中町
		第２部	小妻町448番地の2	小妻町
	第４分団	第１部	徳田町388番地の1	徳田町
		第２部	里川町137番地の1	里川町

防火委員会関係

常陸太田市幼少年女性防火委員会

会　長　消防長
委　員　消防団長
〃　幼年消防クラブ各指導者
〃　少年消防クラブ各指導者
〃　女性防火クラブ各会長
〃　消防課長
監　事　上内田女性防火クラブ会長
〃　総務課長
事務局　常陸太田市消防本部消防課警防係

（令和６年４月１日現在）

女性防火クラブ　３クラブ　41名

西河内女性防火クラブ	昭和57年４月１日設立	16名
上内田女性防火クラブ	平成６年12月10日設立	20名
中内田女性防火クラブ	平成７年９月10日設立	5名

少年消防クラブ　７クラブ　654名

瑞竜中学校少年消防クラブ	昭和45年11月16日設立	176名
峰山中学校少年消防クラブ	昭和57年６月８日設立	157名
太田中学校少年消防クラブ	昭和59年５月１日設立	167名
里美中学校少年消防クラブ	平成31年４月１日設立	37名
水府中学校少年消防クラブ	令和２年４月１日設立	29名
里美小学校少年消防クラブ	平成17年４月１日設立	19名
水府小学校少年消防クラブ	平成30年４月１日設立	69名

幼年消防クラブ　14クラブ　992名

太田進徳幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年５月１日設立	41名
太田あすなろ保育園幼年消防クラブ	昭和60年10月１日設立	43名
幸久幼稚園幼年消防クラブ	平成６年２月18日設立	18名
木崎保育園幼年消防クラブ	平成14年11月12日設立	51名
宮ノ脇保育園幼年消防クラブ	平成14年11月26日設立	43名
はすみ保育園幼年消防クラブ	平成15年２月12日設立	68名
愛保育園幼年消防クラブ	平成15年10月30日設立	141名
のぞみこども園幼年消防クラブ	平成16年４月１日設立	91名
うぐいすこども園幼年消防クラブ	平成17年４月１日設立	103名
太田さくら認定こども園幼年消防クラブ	平成27年６月24日設立	176名
さとみこども園幼年消防クラブ	平成28年４月１日設立	18名
すいふこども園幼年消防クラブ	平成30年４月１日設立	37名
らいらっく保育園幼年消防クラブ	令和２年４月１日設立	105名
ゆめいろ保育園幼年消防クラブ	令和２年４月１日設立	57名

消　防　年　報

（令和５年度版）

令和６年12月15日発行

発　行　常陸太田市消防本部消防課予防係
〒313−0013　茨城県常陸太田市山下町1,693番地
ＴＥＬ　０２９４－７３－０１１９

印　刷　有限会社　カシムラ印刷所